

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

平成28年度 業務の実績に関する評価結果

【参考資料】

平成29年9月

岐阜県地方独立行政法人評価委員会

I 法人の概要

1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目16番地
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員の状況 平成28年4月1日現在

	氏名	役職
理事長	原田 明生	院長
副理事長	松葉 英之	副院長兼事務局長
理事	上田 幸夫	副院長兼医療安全部長
理事	竹田 明宏	副院長兼産婦人科部長
理事	近藤 泰三	副院長兼内科部長
理事	柘植 容子	副院長兼看護部長
理事	加藤 智子	ヤマカサ代表取締役
理事	村瀬 登志夫	元多治見市教育委員会教育長
監事	小島 浩一	弁護士
監事	木村 太哉	公認会計士

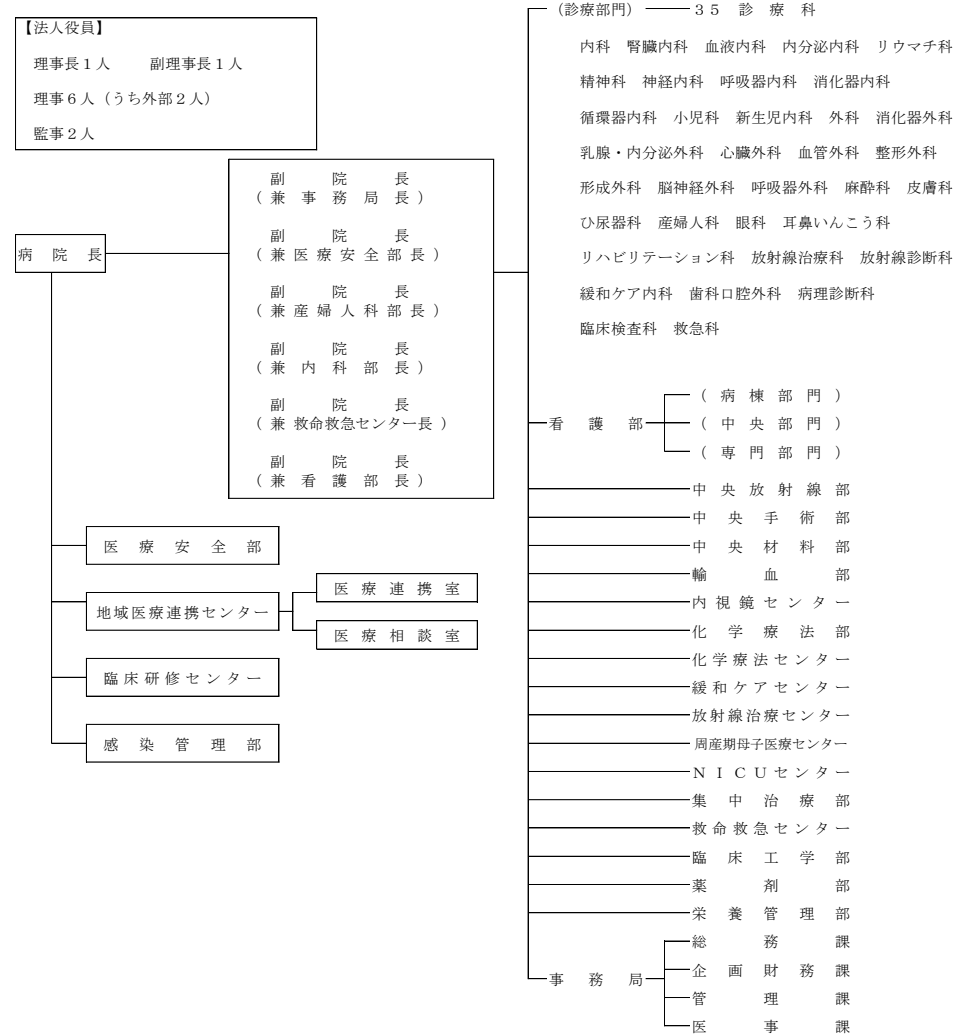
(5) 職員数(平成28年4月1日現在)

単位：人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	124	23	147
看護師	485	113	598
コメディカル	156	16	172
事務等	56	122	178
合計	821	274	1,095

(6) 組織図

平成29年2月1日現在



2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院（以下「法人」という。）は、平成22年度設立以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

設立から平成26年度までの第1期中期目標期間中においては、理事長の強いリーダーシップの下、職員一丸となって診療機能の充実・強化及び経営改善を図り、目標としてきた質の高い医療サービスの効果的な提供に努め、高精度放射線治療システムの導入、経常収支比率100%の初年度からの達成など着実な成果をあげた。

一方、医療を取り巻く環境は、社会保障・税一体改革大綱（平成24年2月17日閣議決定）において、急性期をはじめとする医療機能の強化、病院・病床機能の役割分担・連携の推進、在宅医療の充実などに取り組み、団塊世代が75歳以上となる平成37年に向けて医療提供体制の再構築や地域包括ケアシステムの構築を図ることとされている。

このため、第2期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第1期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、東濃地域の中核的な病院として地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

◆中央診療棟の建替えの推進

昭和56年及び59年に建てられた中央診療棟は30年以上を経過し、外来患者の増加による外来部門の狭隘化や手術室・カテーテル治療室の不足、設備（上水道など）老朽化などが深刻となっており、また災害時の診療機能にも不安が大きいため、早急な対応が求められる。

地域の基幹病院として県民・地域住民に引き続き適切な医療環境を提供するため、中央診療棟の再整備を図る必要があり、平成27年度に基本構想を、平成28年度に基本計画を策定した。

今後、基本設計、実施設計、本体建設と平成34年度の開院に向けて進めていく。

◆病床機能報告

県では、2次医療圏ごとの各医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の分化と連携を適切に推進するための地域医療構想が策定された。

当院においても、当院の医療機能（高度急性期、急性期、慢性期）について病棟単位で現状と今後のあり方を検討し、東濃圏域における地域医療構想構築に参画する。

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称 岐阜県立多治見病院

(2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地

(3) 沿革

年	月	概要
昭和14年	5月	県立多治見病院開設→診療開始 昭和14年9月8日
昭和33年	10月	医療法による「総合病院」の指定
昭和43年	2月	岐阜県知事から「救急病院」の指定
昭和56年	11月	診療本館（現 中央診療棟）一期工事完成
昭和59年	2月	診療本館（現 中央診療棟）二期工事完成
昭和63年	12月	MR I棟完成
平成2年	10月	新東病棟（現 東病棟）完成
平成14年	3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver. 5.0)の認定取得
平成18年	1月	電子カルテシステム導入
平成22年	3月	中・西病棟完成
"	4月	地方独立行政法人に移行
"	6月	緩和ケア病棟20床開設
平成24年	1月	(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver. 6.0)の認定取得
"	5月	精神科病棟46床開設(再開)
平成25年	4月	高精度放射線治療センター稼働
平成28年	3月	卒後臨床研修評価機構の認定取得
"	11月	病床数を575床へ変更(一般病床52床廃止)
平成29年	3月	(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(3rdG:ver1.1)の認定取得

(4) その他

基本理念	安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。
主な役割及び機能	東濃医療圏における基幹病院として、高度先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療の提供
重点医療	救命救急医療 / 周産期医療 / がん医療 / 精神科医療・感染症医療 / 緩和ケア
診療科目	内科 腎臓内科 血液内科 内分泌内科 リウマチ科 精神科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 小児科 新生児内科 外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 心臓外科 血管外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 麻酔科 皮膚科 ひ尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線治療科 放射線診断科 緩和ケア内科 歯科口腔外科 病理診断科 臨床検査科 救急科
病床数	575床 (一般510床：結核13床：精神46床：感染症6床)
年間延べ患者数 (平成28年度)	入院 : 172,398人 外来 : 271,941人

Ⅱ 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関等との役割分担・連携のもと、地域の限られた医療資源を有効活用し、良質かつ高度な医療を提供できるよう病床機能や規模、将来予測等をふまえた新中央診療棟整備の基本計画を策定、高度医療機器の計画的な整備、必要な職員の確保、職員のスキルアップ支援、院内研修の実施、チーム医療の推進、診療効率アップ及び患者目線に立ったサービス向上のための施設整備等の取り組みを行った。

患者・住民サービスの向上については、よろず相談・かかりつけ紹介センターなどを活用した丁寧な相談体制での対応や、セカンドオピニオン希望の患者に対し医療連携室のスタッフが最初から対応した迅速な予約体制の維持などにより、医療に関する相談体制の充実を図った。

患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映する場として、地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、医療をめぐる状況と病院の方向性等についての意見交換をした。

患者サービスに努めた結果、日本病院会「Q Iプロジェクト」での患者満足度調査では、全国Q Iプロジェクト参加病院の中で高い満足度を得ることができた。

診療体制では、医療連携センターが中心となり地域の医療ニーズを聴取し、連携予約枠の拡大、地域連携クリニカルパスの運用方法の検討等を行った。医療環境や患者のニーズに応じた質の高い診療体制の充実を図るため公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価（3rdG:ver1.1）を受審し、認定の更新を行った。

地域医療支援病院として、近隣病院との役割分担の明確化と連携強化により、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができた。（紹介率75.7%、逆紹介率86.2%）

救命救急医療においては、麻酔科医師の大幅な減員といった大変厳しい状況の中、救命救急センターと各診療科の緊密な連携、協力のもと、運用体制の見直しにより救命救急医療体制の確保に努めた。また、周産期医療や精神科医療・感染症医療などの政策医療、地域に不足している医療や県民が必要とする医療を提供するための取組を積極的に推進した。

1-2 調査研究事業

臨床研究及び治験の推進を図っていくため、治験施設支援機関からの支援を得て、治験参加の有益性の啓発・啓蒙に努めた結果、新規で1件受託することができた。

また、提供する医療の質及び地域の医療水準の向上等を図るため、日本病院会「Q Iプロジェクト」、全国自治体病院協議会「医療の質の評価・公表等推進事業」にも参加して、C I、Q Iデータについて分析をするとともに、年報やホームページ上での公表を継続して行った。

1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者を養成するため最新の医療技術や知識を習得できるよう国内外の学会や講習会への参加に必要な費用を負担し支援した。

最新の医療技術や知識習得のため、コメディカル研修委員会主催の合同研修会を引き続き実施した。また、岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による講演・勉強会を実施した。

新専門医制度について、外科領域と内科領域でプログラム申請をし、後期研修医の基幹施設として体制整備を図った。

上矢作病院勤務の医師の後期研修医としての受け入れや、医学部生、看護学生等の実習を積極的に受け入れるなど、医療従事者の育成に努めた。また、救急救命士に対する病院実習も積極的に実施し、医療技術の向上を支援した。

1-4 地域支援事業

中津川市民病院や土岐市立総合病院に医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。

地域全体の医療水準の向上を目的に、近隣の病院や施設等へ医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師として派遣した。また、医療に関する鑑定調査、地域イベントに協力した。

地域医療機関や地域住民に対して、病院が保有する保健医療情報を提供するため、市民公開講座・緩和ケア市民公開講座や、医師、看護師等が公民館に出向く健康づくり講座などを行った。

1-5 災害等発生時における医療救護

熊本地震に対して医療救護班として5名（内DMAT隊員4名）を、「こころのケア」に対する支援のため災害派遣精神医療チーム4名（DPAT: Disaster Psychiatric Assistance Team）を派遣し、支援活動に従事させた。

災害拠点病院（平成23年10月に指定）として、大規模災害発生時等に病院機能が発揮できるよう、大規模災害を想定した災害実働訓練や、夜間などを想定した消防訓練を実施して機能を検証した。また、災害時に活用する備品（インカム、ランタンなど）を整備した。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

効率的かつ効果的な組織体制の充実を図るため、管理課の設置など組織・業務体制の見直しをするとともに、IT化の推進、医療コンサルタントの活用を進めた。また、委託業務に関する評価システムにより、業務が契約内容に基づき適切に実施されているかを検証し、改善や意識向上を図った。さらに、栄養管理部の業務合理化（栄養指導業務等に専念できる体制強化）のため、患者給食業務の全面委託（単価契約）を決定した。プロポーザル方式により業者を選定し、平成29年度からの業務開始に向けて委託契約を締結した。

事務部門の専門・階層別研修に関する方針・計画を作成し、外部講師等を活用した研修の実施や、公開講座に参加するなどして職員の資質向上を図った。併せて、43名の医師事務作業補助者をグループ分けし、グループごとにフォローアップする体制を構築したことにより、医師事務補助体制15対1を継続して充足することができ、質の高い医療の提供を維持した。

診療報酬に直接関係のあるDPC機能評価係数を上げるため、DPCデータを基にした分析システムを活用し、病院の現状を明確化するとともに、外部機関を活用し、他院との比較を通じて病院全体及び疾患別の課題について院内各科での研修を実施し、経営の向上を図った。

未収金管理システムの活用を図るとともに、弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、債権の徴収状況を定期的に把握しながら効果的な回収を進めた。

材料購入では、医療コンサルタントを活用したほか、新たに導入した診療材料のベンチマークシステムを活用し、医薬品、診療材料契約単価の価格交渉を効果的に行い、材料費の節減に努めた。また、後発医薬品の採用を各診療科へ働きかけ、数量ベースで後発採用率80%以上の目標を引き続き達成するとともに、医薬品の採用においては、名称誤認に配慮した医療安全面と後発医薬品の安定供給等の要素を考慮した製剤選択を行った。

3 予算、収支計画及び資金計画

[収益] 平均在院日数の短縮、医療連携の強化や7対1看護体制の維持などによる診療単価増により、昨年度と比べ医業収益において2.1%、収益全体でも1.4%（2.4億円）の増となった。計画に比べ医業収益において1.9%の増、収益全体でも1.7%（2.9億円）の増となった。

[費用] 材料購入における価格交渉や品目切り替え、後発医薬品の採用、光熱水費・燃料費の単価下落などにより、昨年度と比べ医業費用で1.5%、全体で1.6%の増にとどまった。計画に比べ医業費用において2.17%の増、費用全体では1.6%（2.7億円）の増となった。

こうした業務運営の改善及び効率化により、単年度収支は1億3百万円の黒字となり、経常収支比率も100.7%となり、目標である100%以上を平成22年度の独立行政法人化から7年連続で達成した。職員給与と費対医業収益比率は、目標の50%以下を少し上まわる51.7%となり、業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していくことが必要となった。

経常収支比率 = (営業収益+営業外収益) ÷ (営業費用+営業外費用) × 100

営業収益	17,275,424千円
営業外収益	87,302千円
営業費用	16,589,063千円
営業外費用	651,627千円

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の向上については、有給休暇の取得について、各部門長により計画的な取得を推進するとともに、リフレッシュ休暇（特別休暇）を新設し休暇の取得促進を図った。

職員の健康管理については、主査級職員を対象にメンタルヘルス講習会を実施するとともに、前期一般定期健康診断とあわせて「ストレスチェック」を実施し、健康管理対策の充実に努めた。

院内保育では、夜間保育、休日保育、及び病児保育の利便性向上に引き続き努めるとともに、新中央診療棟整備に伴う院内保育所の新築移転のため、他病院の保育施設を見学し、設備や運用面の比較検討を行った。その検討結果を踏まえ、保育所運営委託業者と協同して施設諸室の配置などの検討を重ね、保育所新築移転の本計画を策定した。

医療機器整備については、高齢化により増加が見込まれる腎臓疾患重症患者への適切な診療を行うため血液浄化センターを移設整備し、透析装置等の必要な医療機器を整備した。また、新中央診療棟整備に関連し今後、高額な医療機器更新が見込まれるため、緊急度や優先準備を勘案し、整備を行った。

また、質の高い医療を提供するため、新中央診療棟整備基本計画を、院内各部門ワーキング、整備推進委員会において具体的な検討を重ね、平成29年2月28日に策定した。また、情報システムを中心とする電子カルテシステムについて、他の県立病院に先行して当院が単独で更新整備することを決定した。平成29年度に具体的な更新計画を策定する。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	Ⅳ	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	Ⅳ	
1-1-3 診療体制の充実	03	Ⅲ	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	Ⅳ	
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	Ⅳ	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	Ⅲ	
1-2-2 診療情報等の活用	07	Ⅲ	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	Ⅲ	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	Ⅲ	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	Ⅲ	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	Ⅲ	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	Ⅲ	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	Ⅲ	
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14	Ⅳ	
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立	15	Ⅲ	
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	16	Ⅲ	

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 効果的な組織体制の確立	17	Ⅲ	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	18	Ⅲ	
2-1-3 人事評価システムの構築	19	Ⅲ	
2-1-4 事務部門の専門性の向上	20	Ⅲ	
2-1-5 コンプライアンスの徹底	21	Ⅲ	
2-1-6 適切な情報管理	22	Ⅲ	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	23	Ⅲ	
2-2-2 収入の確保	24	Ⅲ	
2-2-3 費用の削減	25	Ⅲ	
3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画	26	Ⅳ	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	27	Ⅲ	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	28	Ⅲ	
8-3 施設・医療機器の整備に関する事項	29	Ⅳ	
8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	30	Ⅲ	
8-5 積立金の使途	31	Ⅲ	

IV 項目別の状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	<p>1-1 診療事業 東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度・先進医療、急性期医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供する。</p> <p>※ より質の高い医療の提供 法人が有する医師、看護師、コメディカル等や、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保や各職種の専門性の向上を図るための教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの推進、チーム医療体制の充実、メディカカードの導入などITの活用 に努めること。 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、院内感染対策など医療安全対策を徹底すること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。 また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p> <p>※ 診療体制の充実 医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実に 図ること。</p> <p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリティカルパスの活用など地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて東濃地域の 基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、救急医療コミュニティシステムを利用した医療画像等の患者情報の共有など他の医療機関との連携による医療提供の促進を図ること。 さらに、円滑に在宅医療・療養へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p> <p>※ 重点的に取り組む医療 高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。 特に、「救命救急医療」、「周産期医療」、「がん医療」などの高度で先進的な医療及び「精神科医療」、「感染症医療」などの政策医療を重点医療として位置付け、提供すること。 なお、がん医療については、地域がん診療連携拠点病院として、新たに整備した高精度放射線治療装置などによる先進治療に加え、地域の医療機関等との連携の推進により、緩和ケア病棟と在宅での一 貫した緩和ケアが受けられる体制の充実に努めること。</p>
------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
01	<p>※ より質の高い医療の提供</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p>	<p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度・先進医療、急性期医療、政策医療等が提供できるよう病床機能や規模、将来予測等をふまえた新中央診療棟整備の基本計画を策定した。 老化化により更新整備する放射線治療装置（トゥルービーム）について機器の購入契約を締結するとともに高精度放射線治療センターの増改築工事を行った（工期：平成28年5月～平成29年5月）。 	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 麻酔科医の退職により大幅な減員となったが、大学医局との連携や代務医の招聘により必要な医師の確保に努めた。看護師については、ガイダンスでの募集活動、学校訪問、看護職員修学資金等の支援制度により、その他のコメディカルについては、地域情報誌、インターネットを活用した募集により、医療従事者の充実を行った。医師、看護師の必要数確保が課題である。(●) 	IV		

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																		
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																	
3	大学等関係機関との連携 や教育研修の充実による優 れた医師の養成	<ul style="list-style-type: none"> 新中央診療棟整備に関連し今後、高額な医療機器更新が見込まれるため、購入費用が抑制される中、その他の高度医療機器についても緊急度や優先順位を勘案し、整備を行った。閉鎖していた東7階病棟を改修し血液浄化センターを拡充し、透析システム等必要な機器を整備した。 	<p>【医療従事者数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>124</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>463</td> <td>474</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>149</td> <td>154</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	医師	124	118	看護師・助産師	463	474	コメディカル	149	154																								
区分\年度	H27	H28																																					
医師	124	118																																					
看護師・助産師	463	474																																					
コメディカル	149	154																																					
4	認定看護師や専門看護師 等の資格取得の促進	<p>【更新・整備した主な機器】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備目的・用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線治療装置 (トールビーム)</td> <td>がんの放射線治療に使用（正常な組織を守り、腫瘍のみ集中的に治療）</td> </tr> <tr> <td>胆道鏡結石治療 システム</td> <td>膵管や胆管へ挿入し、精査及び結石破砕治療を行う際に使用</td> </tr> <tr> <td>透析システム</td> <td>血液透析施行時に使用（血液浄化センター整備に伴う整備）</td> </tr> <tr> <td>超音波画像診断 装置</td> <td>超音波画像診断（超音波を利用し生体内の状態を検査）を行う際に使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>※放射線治療装置は、購入契約のみ。（平成29年6月納期）</p>	機器名	整備目的・用途	放射線治療装置 (トールビーム)	がんの放射線治療に使用（正常な組織を守り、腫瘍のみ集中的に治療）	胆道鏡結石治療 システム	膵管や胆管へ挿入し、精査及び結石破砕治療を行う際に使用	透析システム	血液透析施行時に使用（血液浄化センター整備に伴う整備）	超音波画像診断 装置	超音波画像診断（超音波を利用し生体内の状態を検査）を行う際に使用	<p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> コメディカル各部門において専門・階層別研修に関する方針・計画を作成するとともに、コメディカル研修委員会で合同研修計画を作成し、教育や研修会を実施し、最新の医療技術や知識習得を図った。 ※ 階層別合同研修会・研修講演会の実施：年8回 <p>【コメディカル専門研修の参加人数】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>30</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>41</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>76</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>19</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>18</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>16</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>200</td> <td>179</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	薬剤師	30	47	臨床検査技師	41	29	放射線技師	76	35	臨床工学技士	19	31	リハビリ技師	18	28	管理栄養士	16	9	合計	200	179		
機器名	整備目的・用途																																						
放射線治療装置 (トールビーム)	がんの放射線治療に使用（正常な組織を守り、腫瘍のみ集中的に治療）																																						
胆道鏡結石治療 システム	膵管や胆管へ挿入し、精査及び結石破砕治療を行う際に使用																																						
透析システム	血液透析施行時に使用（血液浄化センター整備に伴う整備）																																						
超音波画像診断 装置	超音波画像診断（超音波を利用し生体内の状態を検査）を行う際に使用																																						
区分\年度	H27	H28																																					
薬剤師	30	47																																					
臨床検査技師	41	29																																					
放射線技師	76	35																																					
臨床工学技士	19	31																																					
リハビリ技師	18	28																																					
管理栄養士	16	9																																					
合計	200	179																																					
5	コメディカルに対する専門 研修の実施																																						
6	E BMの推進																																						
7	専門性を発揮したチーム 医療の推進																																						
8	メディカカードの導入な どのITの活用																																						
9	医療安全対策の充実																																						
10	院内感染防止対策の確立	<p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による講演・勉強会を実施した。（計9回実施） 初期研修医ホームページをリニューアルし、研修プログラムの内容等を分かりやすく掲載した。研修プログラムについても名古屋大学医学部附属病院（麻酔科）を協力型臨床研修施設に追加する変更を行った。また、臨床研修専任の事務担当者（非常勤）を1名配置し、臨床研修体制を強化した。 <p>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> より水準の高い看護を提供するため、認定看護師等長期研修計画に基づき、感染管理認定看護師、がん専門看護師の資格取得に支援を行った。 	<p>6 E BMの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> クリニカルパス推進委員会にてクリニカルパスの実績の検証を通じて、その内容の充実を図った。平成28年度は、クリニカルパスの新設、使用率の向上を目標に取り組んだ。消化器内科、神経内科、外科、血管外科で新規のクリニカルパスを新設することができ、全体の利用率も平成27年度を3.2ポイント上回る42.8%となった。 <p>【診療科別クリニカルパスの内訳】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科名\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>28</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	診療科名\年度	H27	H28	産婦人科	28	30																														
診療科名\年度	H27	H28																																					
産婦人科	28	30																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)			自己 評価	評価委員会の検証																																																																																	
							検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																
		<p>【認定看護師・専門看護師数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分野</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">認定</td> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認知症看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>訪問看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小計</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>がん看護</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>急性・救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデントレポートの集計、分析を行い、医療安全管理委員会において再発防止策を検討した。その検討結果に基づき管理会議、医局会、看護部安全対策委員会等で注意喚起、周知を図った。また、インシデント事例から「医療安全のお知らせ」を作成し、会議で配布およびサイボウズ（院内職員共有イントラネット）に掲示し周知を図った。 多職種で協議検討を行うため、医療安全部メンバーの見直しに着手し、平成29年度から6名増員し、12名体制とする準備を進めた。 	区分	分野	H27	H28	認定	皮膚・排泄ケア	2	2	集中ケア	2	2	緩和ケア	1	1	がん化学療法看護	1	1	がん性疼痛看護	1	1	感染管理	2	3	新生児集中ケア	1	1	摂食・嚥下障害看護	1	1	救急看護	1	1	慢性心不全看護	1	1	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	糖尿病看護	1	1	認知症看護	1	1	訪問看護	1	1	認定看護管理者	1	1		小計	18	19	専門	がん看護	2	3	急性・救急看護	1	1	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>整形外科</td> <td>36</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>呼吸器科</td> <td>3</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>外科・消化器外科</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>循環器科</td> <td>13</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>102</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>208</td> <td>239</td> </tr> </tbody> </table> <p>【クリニカルパス利用率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>39.6%</td> <td>42.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> NST（栄養サポートチーム）、RST（呼吸ケアサポートチーム）、ICT（感染防止対策チーム）、精神科リエゾンチーム、褥瘡チーム、PCT（緩和ケアチーム）、糖尿病チーム、医療安全チーム、摂食嚥下チーム、口腔ケアチームによる活動を行った。 <p>8 メディカカードの導入などのITの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に導入配備したメディカカードシステム（カード発行端末及び読み取り端末）のさらなる充実と活用のため、県立3病院の電子カルテ担当者会議に岐阜大学医学部附属病院の小倉院長を招聘し、今後の展開や可能性について検討を行った。 	整形外科	36	43	呼吸器科	3	23	外科・消化器外科	26	27	循環器科	13	14	その他	102	102	合計	208	239	H27	H28	39.6%	42.8%		
区分	分野	H27	H28																																																																																					
認定	皮膚・排泄ケア	2	2																																																																																					
	集中ケア	2	2																																																																																					
	緩和ケア	1	1																																																																																					
	がん化学療法看護	1	1																																																																																					
	がん性疼痛看護	1	1																																																																																					
	感染管理	2	3																																																																																					
	新生児集中ケア	1	1																																																																																					
	摂食・嚥下障害看護	1	1																																																																																					
	救急看護	1	1																																																																																					
	慢性心不全看護	1	1																																																																																					
	脳卒中リハビリテーション看護	1	1																																																																																					
	糖尿病看護	1	1																																																																																					
	認知症看護	1	1																																																																																					
	訪問看護	1	1																																																																																					
	認定看護管理者	1	1																																																																																					
	小計	18	19																																																																																					
専門	がん看護	2	3																																																																																					
	急性・救急看護	1	1																																																																																					
整形外科	36	43																																																																																						
呼吸器科	3	23																																																																																						
外科・消化器外科	26	27																																																																																						
循環器科	13	14																																																																																						
その他	102	102																																																																																						
合計	208	239																																																																																						
H27	H28																																																																																							
39.6%	42.8%																																																																																							

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																				
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																			
		<p>【インシデント・アクシデント件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>3,765</td> <td>3,273</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>30</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,795</td> <td>3,287</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療安全講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ（開催日）</th> <th>参加数</th> <th>DVD 研修会</th> <th>参加率 （%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賠償事件事例の紹介と解説(9/15)</td> <td>575</td> <td>346</td> <td>87.3</td> </tr> <tr> <td>急性肺血栓塞栓症による突然死を防ぐ(2/16)</td> <td>520</td> <td>334</td> <td>81.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※DVD研修会：参加率100%を目指すため実施</p> <p>10 院内感染防止対策の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策マニュアルの改訂を行うとともにサイボウズ（院内職員共有イントラネット）で常時閲覧できる環境を整え、院内感染対策に努めた。 ・ MRSAが3病棟（NICU、中病棟3階、中病棟4階）で発生し、アウトブレイクとなったが、早期にICTが介入し、汚染箇所の特定、感染・伝搬状況の把握、それらの情報に基づく多職種による合同カンファレンスの実施等により対策を講じ、感染拡大には至らずに終息することができた。 ・ 資格取得を病院として支援した結果、新たに看護師1名が感染管理認定看護師資格を取得することができた。専任1名、兼任2名の3名となり、感染管理体制を拡充することができた。 <p>【感染対策教育講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ（開催日）</th> <th>参加数</th> <th>DVD 研修会</th> <th>参加率 （%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県内施設とのデータ比較に基づく当院の感染対策の現状(7/26)</td> <td>595</td> <td>371</td> <td>89.3</td> </tr> <tr> <td>感染症アウトブレイク対策(1/24)</td> <td>562</td> <td>408</td> <td>90.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※DVD研修会：参加率100%を目指すため実施</p>	区分\年度	H27	H28	インシデント	3,765	3,273	アクシデント	30	14	合計	3,795	3,287	テーマ（開催日）	参加数	DVD 研修会	参加率 （%）	賠償事件事例の紹介と解説(9/15)	575	346	87.3	急性肺血栓塞栓症による突然死を防ぐ(2/16)	520	334	81.4	テーマ（開催日）	参加数	DVD 研修会	参加率 （%）	岐阜県内施設とのデータ比較に基づく当院の感染対策の現状(7/26)	595	371	89.3	感染症アウトブレイク対策(1/24)	562	408	90.9			
区分\年度	H27	H28																																							
インシデント	3,765	3,273																																							
アクシデント	30	14																																							
合計	3,795	3,287																																							
テーマ（開催日）	参加数	DVD 研修会	参加率 （%）																																						
賠償事件事例の紹介と解説(9/15)	575	346	87.3																																						
急性肺血栓塞栓症による突然死を防ぐ(2/16)	520	334	81.4																																						
テーマ（開催日）	参加数	DVD 研修会	参加率 （%）																																						
岐阜県内施設とのデータ比較に基づく当院の感染対策の現状(7/26)	595	371	89.3																																						
感染症アウトブレイク対策(1/24)	562	408	90.9																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																		
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																	
02	※ 患者・住民サービスの向上 1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 2 院内環境の快適性の向上 3 医療に関する相談体制の充実 4 患者中心の医療の提供 5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映	1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ・ 中央放射線及び生理検査について9～12月の4ヶ月間、待ち時間調査を実施した。患者の集中する時間帯に待ち時間が発生していたため、機器の効率的な運用に努めた。患者満足度調査においても同様に患者集中による問題点はあるものの、前回調査時と比較しても概ね良好な結果が得られた。今後も継続的に待ち時間の苦痛軽減に努めたい。 ・ 非常勤の診療放射線技師を医療連携センターに配置し、連携業務や関係医療機関への訪問活動を強化した結果、高度医療機器利用件数が増加し、住民サービスの向上につながった。 【平均待ち時間】 単位：分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> ※待ち時間は病院全体の時間 【CT、MRI検査件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>29,355</td> <td>29,516</td> </tr> <tr> <td>MRI件数</td> <td>9,862</td> <td>9,833</td> </tr> </tbody> </table> 2 院内環境の快適性の向上 ・ 治療効果を高めるため、食事制限などのある患者の食事相談や指導をした。また、喫食量の低下した患者や低栄養の患者に対し、NSTが早期に介入し、多職種協同で栄養に対する知識を高める教育、献立や分量見直しを行った。 ・ 老朽化した館内空調設備等を更新し、院内環境の快適性を向上させた。また院内患者向けの案内冊子「お役立ちブック」の作成や院内床面の誘導ライン全面リニューアル等により診察や検査に伴う患者へのストレス軽減に努めた。 【喫食量の低下・低栄養患者への取り組み】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養指導</td> <td>4,552</td> <td>5,164</td> </tr> <tr> <td>栄養管理</td> <td>2,017</td> <td>1,044</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>433</td> <td>430</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	22	20	区分\年度	H27	H28	CT件数	29,355	29,516	MRI件数	9,862	9,833	項目\年度	H27	H28	栄養指導	4,552	5,164	栄養管理	2,017	1,044	NST介入	433	430	4 患者中心の医療の提供 ・ 患者サポート体制カンファレンスを毎週1回開催し、医療相談、クレーム事例などから患者の意見・要望を把握し、医療安全活動と合わせ、患者の権利の保障について検討した。また、インシデント事例から、今後フォローが必要になりそうな患者について情報共有を行った。 ・ 患者図書室へ患者や職員から多くの図書の寄贈を受け、蔵書数が増加し、内容も充実した。 【患者図書室利用実績・蔵書数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(単位：人)</td> <td>10,552</td> <td>9,830</td> </tr> <tr> <td>稼働日数(単位：日)</td> <td>242</td> <td>242</td> </tr> <tr> <td>1日平均(単位：日)</td> <td>43.6</td> <td>40.6</td> </tr> <tr> <td>蔵書数(冊)</td> <td>2,522</td> <td>2,847</td> </tr> </tbody> </table> 5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 ・ 電子カルテ内のIC(インフォームドコンセント)シートの活用徹底と、ICにおける同意書、診療科個別の説明書の見直しを行った。 ・ セカンドオピニオンについては、受診希望者に対し、医療連携室が窓口となり一元的に対応し、昨年度に引き続き迅速な予約体制を維持した。 【セカンドオピニオン実施件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>20</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>70</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	利用者数(単位：人)	10,552	9,830	稼働日数(単位：日)	242	242	1日平均(単位：日)	43.6	40.6	蔵書数(冊)	2,522	2,847	区分\年度	H27	H28	外来受入	20	6	他院紹介	70	61	IV		
H27	H28																																																						
22	20																																																						
区分\年度	H27	H28																																																					
CT件数	29,355	29,516																																																					
MRI件数	9,862	9,833																																																					
項目\年度	H27	H28																																																					
栄養指導	4,552	5,164																																																					
栄養管理	2,017	1,044																																																					
NST介入	433	430																																																					
区分\年度	H27	H28																																																					
利用者数(単位：人)	10,552	9,830																																																					
稼働日数(単位：日)	242	242																																																					
1日平均(単位：日)	43.6	40.6																																																					
蔵書数(冊)	2,522	2,847																																																					
区分\年度	H27	H28																																																					
外来受入	20	6																																																					
他院紹介	70	61																																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																											
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																										
		<p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者やその家族からの医療費支払いに関する各種福祉制度の活用や転院相談等の医療情報に関する医療相談の他に、受診診療科や病気などの様々な相談に対し、よろず相談・かかりつけ医紹介センターなどを活用した丁寧な相談体制で対応ができた。また、人員配置の面でも社会福祉士を3名（常勤職員2名、非常勤職員1名）増員し、各種相談業務に柔軟に対応できる体制を整えた。 <p>【よろず相談・かかりつけ医紹介件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかりつけ医への紹介</td> <td>251</td> <td>322</td> </tr> <tr> <td>よろず相談</td> <td>1,480</td> <td>1,129</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療相談件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>12,303</td> <td>14,597</td> </tr> <tr> <td>がん患者サロン（ほつとサロン）相談件数</td> <td>99</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>【カルテ開示請求件数・開示件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>64</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>62</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、新中央診療棟の整備、医療をめぐる状況と病院の方向性、血液浄化センター等の整備、がん放射線治療装置拡充整備について意見交換を行った。 患者サービスに努めた結果、日本病院会「Q Iプロジェクト」での患者満足度調査では、全国Q Iプロジェクト参加病院の中では高い満足度を得ることができた。 	項目\年度	H27	H28	かかりつけ医への紹介	251	322	よろず相談	1,480	1,129	項目\年度	H27	H28	医療相談件数	12,303	14,597	がん患者サロン（ほつとサロン）相談件数	99	55	項目\年度	H27	H28	請求件数	64	57	開示件数	62	42			
項目\年度	H27	H28																														
かかりつけ医への紹介	251	322																														
よろず相談	1,480	1,129																														
項目\年度	H27	H28																														
医療相談件数	12,303	14,597																														
がん患者サロン（ほつとサロン）相談件数	99	55																														
項目\年度	H27	H28																														
請求件数	64	57																														
開示件数	62	42																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																					
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
		<p>【満足度調査の比較】 単位：％</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">満足度</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">入院</td> <td>当院</td> <td>95.6</td> <td>98.1</td> </tr> <tr> <td>QI プロジェクト参加病院 (平均値)</td> <td>89.3</td> <td>89.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外来</td> <td>当院</td> <td>87.2</td> <td>87.7</td> </tr> <tr> <td>QI プロジェクト参加病院 (平均値)</td> <td>81.7</td> <td>83.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ QI プロジェクトデータを全て引用</p>			満足度		H27	H28	入院	当院	95.6	98.1	QI プロジェクト参加病院 (平均値)	89.3	89.1	外来	当院	87.2	87.7	QI プロジェクト参加病院 (平均値)	81.7	83.0				
		満足度																								
		H27	H28																							
入院	当院	95.6	98.1																							
	QI プロジェクト参加病院 (平均値)	89.3	89.1																							
外来	当院	87.2	87.7																							
	QI プロジェクト参加病院 (平均値)	81.7	83.0																							
03	<p>※ 診療体制の充実</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p>	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療連携センターが中心となり、開業医への訪問活動、地域医療連携推進協議会、可児・東濃地域病院連携推進会議、地域連携クリニカルパス合同委員会、健康づくり講座等を通じて、医療ニーズを聴取し、院内関係部門と情報を共有するとともに連携予約枠の拡大、地域連携パスの運用方法の検討等を行い診療体制の充実を図った。 医療環境や患者のニーズに応じた質の高い診療体制の充実を図るため公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価（3rdG:ver1.1）を受審し、認定の更新を行った。 <p>【連携予約状況】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整形外科</td> <td>1,019</td> <td>1,217</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>871</td> <td>880</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>1,738</td> <td>1,675</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9,604</td> <td>10,028</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,232</td> <td>13,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に拡充した再雇用制度を活用し、定年を迎えた高い専門性を有する職員を再雇用し、安定的な診療体制の充実を図った。また、診療報酬改定等に対応し、実務経験のある社会福祉士3名（常勤職員2名、非常勤職員1名）と臨床心理士1名を採用した。 	区分\年度	H27	H28	整形外科	1,019	1,217	神経内科	871	880	消化器内科	1,738	1,675	その他	9,604	10,028	合計	13,232	13,800		III				
区分\年度	H27	H28																								
整形外科	1,019	1,217																								
神経内科	871	880																								
消化器内科	1,738	1,675																								
その他	9,604	10,028																								
合計	13,232	13,800																								

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																									
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																								
04	※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化 2 地域連携クリティカルパスの整備普及 3 救急医療コミュニティシステム等の活用 4 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する連携強化	1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化 ・ 多治見シャトル（かかりつけ医へ患者の診療予定日をお知らせする仕組み）を活用し、開業医との連携強化を進めることができた。また、地域医療機関向けの講演会や、市民向けの健康講座を通じて、近隣病院との役割分担の明確化と連携強化を図り、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができた。地域医療支援病院としての要件を満たした。 【多治見シャトル利用】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>702</td> <td>1,082</td> </tr> </tbody> </table> 【紹介患者のうち医療連携予約の割合】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>58.8</td> <td>61.2</td> </tr> </tbody> </table> 【紹介率・逆紹介率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (単位：％)</td> <td>65.7</td> <td>75.7</td> </tr> <tr> <td>紹介実件数 (単位：件)</td> <td>22,506</td> <td>22,553</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (単位：％)</td> <td>77.3</td> <td>86.2</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実件数 (単位：件)</td> <td>17,796</td> <td>17,325</td> </tr> </tbody> </table> 【高度医療機器利用状況】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C T</td> <td>762</td> <td>887</td> </tr> <tr> <td>M R I</td> <td>628</td> <td>580</td> </tr> <tr> <td>R I</td> <td>137</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>P E T</td> <td>60</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>骨密度</td> <td>46</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,633</td> <td>1,715</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	702	1,082	H27	H28	58.8	61.2	区分\年度	H27	H28	紹介率 (単位：％)	65.7	75.7	紹介実件数 (単位：件)	22,506	22,553	逆紹介率 (単位：％)	77.3	86.2	逆紹介実件数 (単位：件)	17,796	17,325	機器名\年度	H27	H28	C T	762	887	M R I	628	580	R I	137	128	P E T	60	57	骨密度	46	63	合 計	1,633	1,715	3 救急医療コミュニティシステム等の活用 ・ 平成 27 年 10 月に利用開始した岐阜県地域連携ネットワークシステム「ぎふ清流ネット」について診療所等への普及活動を行い、2 施設新規登録に貢献した。また、情報提供項目について、新たに生理検査データの項目を追加し、情報提供範囲を拡大した。(年度末の登録施設数：13 施設) 4 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する連携強化 ・ 退院前に医師、看護師、地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携を強化するとともに、安全・安楽に在宅療養できるよう支援を行った。 ・ 適切な退院、転院を進めるために、医療機関や介護・福祉機関を積極的に訪問し、在宅復帰率 75%以上を達成し在宅復帰率の安定的な維持を図った。 【在宅復帰率】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>87.47</td> <td>86.5</td> </tr> </tbody> </table> 【相談対応件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,303</td> <td>14,597</td> </tr> </tbody> </table> 【合同カンファレンスの実績】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>231</td> <td>277</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	87.47	86.5	H27	H28	12,303	14,597	H27	H28	231	277	IV		
H27	H28																																																													
702	1,082																																																													
H27	H28																																																													
58.8	61.2																																																													
区分\年度	H27	H28																																																												
紹介率 (単位：％)	65.7	75.7																																																												
紹介実件数 (単位：件)	22,506	22,553																																																												
逆紹介率 (単位：％)	77.3	86.2																																																												
逆紹介実件数 (単位：件)	17,796	17,325																																																												
機器名\年度	H27	H28																																																												
C T	762	887																																																												
M R I	628	580																																																												
R I	137	128																																																												
P E T	60	57																																																												
骨密度	46	63																																																												
合 計	1,633	1,715																																																												
H27	H28																																																													
87.47	86.5																																																													
H27	H28																																																													
12,303	14,597																																																													
H27	H28																																																													
231	277																																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																							
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																						
		<p>【開放型病床利用】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td> <td>13</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>26</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 地域連携クリティカルパスの整備普及</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携クリティカルパス（大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症・心筋梗塞、糖尿病）の運用促進のため、地域医療連携推進協議会（年4回）や医療連携講演会（年2回）を開催し、医師会、行政機関等との連携を強化した。 <p>【地域連携パス運用実績】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パス名\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>222</td> <td>263</td> </tr> <tr> <td>5大がん</td> <td>22</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>狭心症・心筋梗塞</td> <td>117</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>糖尿病</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>461</td> <td>485</td> </tr> </tbody> </table> <p>【共同指導・連携指導の実績】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時共同指導実績</td> <td>112</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>介護支援連携指導</td> <td>231</td> <td>187</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	医科	13	21	歯科	26	22	パス名\年度	H27	H28	大腿骨頸部骨折	100	100	脳卒中	222	263	5大がん	22	30	狭心症・心筋梗塞	117	92	糖尿病	0	0	合計	461	485	項目\年度	H27	H28	退院時共同指導実績	112	90	介護支援連携指導	231	187			
区分\年度	H27	H28																																										
医科	13	21																																										
歯科	26	22																																										
パス名\年度	H27	H28																																										
大腿骨頸部骨折	100	100																																										
脳卒中	222	263																																										
5大がん	22	30																																										
狭心症・心筋梗塞	117	92																																										
糖尿病	0	0																																										
合計	461	485																																										
項目\年度	H27	H28																																										
退院時共同指導実績	112	90																																										
介護支援連携指導	231	187																																										
05	<p>※ 重点的に取り組む医療</p> <p>1 救命救急医療</p> <p>2 周産期医療</p> <p>3 がん医療</p> <p>4 精神科医療・感染症医療</p>	<p>2 周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 東濃地域の地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24 時間対応できる体制を維持確保した。現在の診療体制を維持、充実させるために継続して医師、助産師の確保、増員に努めた結果、産婦人科医が1名増加し、6名体制となった。 産科の入院患者数、分娩件数が増加した。 <p>【周産期母子医療センターの主な実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数（単位：件）</td> <td>492</td> <td>528</td> </tr> <tr> <td>新生児数（単位：人）</td> <td>534</td> <td>563</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	分娩件数（単位：件）	492	528	新生児数（単位：人）	534	563	<p>1 救命救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 麻酔科医師の大幅な減員といった大変厳しい状況の中、救命救急センターと各診療科の緊密な連携、協力のもと、運用体制の見直しにより救命救急医療体制の確保に努めた。また急性期心臓血管疾患に対応するため専門医を10名配置した。（平成27年度は8名） <p>【救命救急センター受入実績（延患者数及び病床利用率）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> </tr> <tr> <th>延患者数 （単位：人）</th> <th>病床利用率 （単位：％）</th> <th>延患者数 （単位：人）</th> <th>病床利用率 （単位：％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	H27		H28		延患者数 （単位：人）	病床利用率 （単位：％）	延患者数 （単位：人）	病床利用率 （単位：％）	項目					IV																	
区分\年度	H27	H28																																										
分娩件数（単位：件）	492	528																																										
新生児数（単位：人）	534	563																																										
年度	H27		H28																																									
	延患者数 （単位：人）	病床利用率 （単位：％）	延患者数 （単位：人）	病床利用率 （単位：％）																																								
項目																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)				自己 評価	評価委員会の検証																																																																																																																																												
								検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																																																											
5	緩和ケア	<table border="1"> <tr> <td>年間 入院 者数</td> <td>NICU (単位:人)</td> <td>264</td> <td>254</td> </tr> <tr> <td></td> <td>GCU (単位:人)</td> <td>461</td> <td>449</td> </tr> <tr> <td></td> <td>産科 (単位:人)</td> <td>575</td> <td>674</td> </tr> <tr> <td></td> <td>母胎搬送件数 (単位:件)</td> <td>79</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新生児搬送件数 (単位:件)</td> <td>84</td> <td>60</td> </tr> </table> <p>3 がん医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療システム(ノバルスTx)で、より質の高い放射線治療を提供するとともに、老朽化により更新整備する放射線治療装置(トゥルービーム)について機器の購入契約を締結、高精度放射線治療センター増改築工事を行った(工期:平成28年5月~平成29年5月)。今後、平成30年4月稼働に向け、引き続き準備を行う。地域がん診療連携拠点病院として先進治療の実施に努めた。 県内統一のがん地域連携クリニカルパスについてパスコーディネーターを中心に適用患者の増進に努めた。 <p>【がん患者等の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">入院患者数 (単位:人)</td> <td>2,622</td> <td>2,695</td> </tr> <tr> <td colspan="2">外来患者数 (単位:人)</td> <td>1,496</td> <td>1,675</td> </tr> <tr> <td colspan="2">手術件数</td> <td>1,108</td> <td>1,121</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化学療法件数</td> <td>入院</td> <td>1,272</td> <td>1,824</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>11,894</td> <td>11,403</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放射線治療施行回数</td> <td>入院</td> <td>3,031</td> <td>2,958</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>5,429</td> <td>4,864</td> </tr> </tbody> </table> <p>【がんパス件数】 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>【高精度放射線治療システム(ノバルスTx)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数 (単位:人)</td> <td>264</td> <td>307</td> </tr> <tr> <td>強度変調放射線治療(IMRT)患者数 (単位:人)</td> <td>239</td> <td>273</td> </tr> <tr> <td>延べ件数 (単位:件)</td> <td>5,076</td> <td>5,988</td> </tr> </tbody> </table>	年間 入院 者数	NICU (単位:人)	264	254		GCU (単位:人)	461	449		産科 (単位:人)	575	674		母胎搬送件数 (単位:件)	79	92		新生児搬送件数 (単位:件)	84	60	項目\年度		H27	H28	入院患者数 (単位:人)		2,622	2,695	外来患者数 (単位:人)		1,496	1,675	手術件数		1,108	1,121	化学療法件数	入院	1,272	1,824	外来	11,894	11,403	放射線治療施行回数	入院	3,031	2,958	外来	5,429	4,864	H27	H28	22	30	項目\年度	H27	H28	患者数 (単位:人)	264	307	強度変調放射線治療(IMRT)患者数 (単位:人)	239	273	延べ件数 (単位:件)	5,076	5,988	<table border="1"> <tr> <td>ICU</td> <td>1,656</td> <td>56.6</td> <td>1,539</td> <td>52.7</td> </tr> <tr> <td>CCU</td> <td>891</td> <td>81.1</td> <td>844</td> <td>77.1</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>1,914</td> <td>58.1</td> <td>1,678</td> <td>51.1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,461</td> <td>60.9</td> <td>4,061</td> <td>55.6</td> </tr> </table> <p>【救急車両受入台数】 単位:台</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入台数</td> <td>4,933</td> <td>4,678</td> </tr> <tr> <td>一日平均台数</td> <td>13.5</td> <td>12.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【心臓血管手術症例数】 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虚血性心疾患</td> <td>28</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>弁膜症</td> <td>31</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>大動脈</td> <td>34</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>17</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>110</td> <td>182</td> </tr> </tbody> </table> <p>【手術・検査件数】 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心カテ</td> <td>976</td> <td>981</td> </tr> <tr> <td>PCI※</td> <td>380</td> <td>385</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PCI:冠動脈形成術</p> <p>【循環器系】 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アブレーション</td> <td>73</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>PMI※</td> <td>54</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>ICD※</td> <td>16</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PMI:ペースメーカー埋込 ICD:植え込み型除細動器</p> <p>【狭心症・心筋梗塞パス運用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パス運用 (単位:件)</td> <td>117</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>登録医師数 (単位:人)</td> <td>72</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table>	ICU	1,656	56.6	1,539	52.7	CCU	891	81.1	844	77.1	HCU	1,914	58.1	1,678	51.1	合計	4,461	60.9	4,061	55.6	区分\年度	H27	H28	受入台数	4,933	4,678	一日平均台数	13.5	12.8	区分\年度	H27	H28	虚血性心疾患	28	25	弁膜症	31	29	大動脈	34	47	その他	17	81	合計	110	182	区分\年	H27	H28	心カテ	976	981	PCI※	380	385	区分\年	H27	H28	アブレーション	73	78	PMI※	54	64	ICD※	16	12	項目\年度	H27	H28	パス運用 (単位:件)	117	92	登録医師数 (単位:人)	72	74		
年間 入院 者数	NICU (単位:人)	264	254																																																																																																																																																	
	GCU (単位:人)	461	449																																																																																																																																																	
	産科 (単位:人)	575	674																																																																																																																																																	
	母胎搬送件数 (単位:件)	79	92																																																																																																																																																	
	新生児搬送件数 (単位:件)	84	60																																																																																																																																																	
項目\年度		H27	H28																																																																																																																																																	
入院患者数 (単位:人)		2,622	2,695																																																																																																																																																	
外来患者数 (単位:人)		1,496	1,675																																																																																																																																																	
手術件数		1,108	1,121																																																																																																																																																	
化学療法件数	入院	1,272	1,824																																																																																																																																																	
	外来	11,894	11,403																																																																																																																																																	
放射線治療施行回数	入院	3,031	2,958																																																																																																																																																	
	外来	5,429	4,864																																																																																																																																																	
H27	H28																																																																																																																																																			
22	30																																																																																																																																																			
項目\年度	H27	H28																																																																																																																																																		
患者数 (単位:人)	264	307																																																																																																																																																		
強度変調放射線治療(IMRT)患者数 (単位:人)	239	273																																																																																																																																																		
延べ件数 (単位:件)	5,076	5,988																																																																																																																																																		
ICU	1,656	56.6	1,539	52.7																																																																																																																																																
CCU	891	81.1	844	77.1																																																																																																																																																
HCU	1,914	58.1	1,678	51.1																																																																																																																																																
合計	4,461	60.9	4,061	55.6																																																																																																																																																
区分\年度	H27	H28																																																																																																																																																		
受入台数	4,933	4,678																																																																																																																																																		
一日平均台数	13.5	12.8																																																																																																																																																		
区分\年度	H27	H28																																																																																																																																																		
虚血性心疾患	28	25																																																																																																																																																		
弁膜症	31	29																																																																																																																																																		
大動脈	34	47																																																																																																																																																		
その他	17	81																																																																																																																																																		
合計	110	182																																																																																																																																																		
区分\年	H27	H28																																																																																																																																																		
心カテ	976	981																																																																																																																																																		
PCI※	380	385																																																																																																																																																		
区分\年	H27	H28																																																																																																																																																		
アブレーション	73	78																																																																																																																																																		
PMI※	54	64																																																																																																																																																		
ICD※	16	12																																																																																																																																																		
項目\年度	H27	H28																																																																																																																																																		
パス運用 (単位:件)	117	92																																																																																																																																																		
登録医師数 (単位:人)	72	74																																																																																																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																		
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																	
		<p>4 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 東濃地域の唯一の結核指定医療機関及び感染症指定医療機関として救急患者や他の医療機関で対応が困難な患者の受け入れ体制を継続維持した。またメーカーと共同で、職員向けのN95マスクのフィッティングテストを継続実施し、結核医療に対する啓蒙を行った。 精神科に設置している地域医療機関による東濃精神科医療連絡協議会を年3回開催し、症例検討のほか、各機関での取組みや近況の報告等、精神医療に関する情報交換を行った。 <p>【患者の受入れ実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病床\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核、感染症</td> <td>3,072</td> <td>3,361</td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td>6,937</td> <td>6,220</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 緩和ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演会や勉強会の開催等地域における緩和ケアの取り組み、関係機関との連携、指導体制の強化等が高く評価され、公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価（3rdG:ver1.1 副機能 緩和ケア病院）を認証取得することができた。 平成27年度に開設した緩和ケアセンターを活用し、退院支援カンファレンスや緩和ケアに関わる他医療機関及び多職種連携のカンファレンスを開催した。入院から在宅での緩和ケアへ円滑に移行できるよう関係機関で患者情報を共有し、連携の強化を行った。 <p>【緩和ケア勉強会等開催状況】 単位：回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア勉強会</td> <td>8</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修会</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア講演会</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア市民公開講座</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【緩和ケアの患者動向】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>3,227</td> <td>3,237</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>125</td> <td>129</td> </tr> </tbody> </table>	病床\年度	H27	H28	結核、感染症	3,072	3,361	精神科	6,937	6,220	区分\年度	H27	H28	緩和ケア勉強会	8	6	緩和ケア研修会	2	1	緩和ケア講演会	2	2	緩和ケア市民公開講座	1	1	区分\年度	H27	H28	入院患者数	3,227	3,237	外来患者数	125	129				
病床\年度	H27	H28																																					
結核、感染症	3,072	3,361																																					
精神科	6,937	6,220																																					
区分\年度	H27	H28																																					
緩和ケア勉強会	8	6																																					
緩和ケア研修会	2	1																																					
緩和ケア講演会	2	2																																					
緩和ケア市民公開講座	1	1																																					
区分\年度	H27	H28																																					
入院患者数	3,227	3,237																																					
外来患者数	125	129																																					

中期 目標	<p>1-2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。</p> <p>※ 調査及び臨床研究等の推進 高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び東濃地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。</p> <p>※ 診療情報等の活用 電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証										
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項									
06	<p>※ 調査及び臨床研究等の推進</p> <p>1 臨床研究及び治験の推進</p>	<p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 治験施設支援機関の支援により、治験参加の有益性の啓蒙・啓蒙に努めた結果、新規で1件受託することができた。 <p>【臨床研究及び治験件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>臨床共同研究件数</td> <td>18</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	治験実施件数	0	1	臨床共同研究件数	18	21		III		
区分\年度	H27	H28													
治験実施件数	0	1													
臨床共同研究件数	18	21													
07	<p>※ 診療情報等の活用</p> <p>1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p>	<p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本病院会「Q Iプロジェクト」、全国自治体病院協議会「医療の質の評価・公表等推進事業」に参加し、経営管理指標、患者満足度、連携先満足度や褥瘡発生率など全43項目（新たに19項目を追加）のC I、Q Iデータについて分析をするとともに、年報やホームページ上での公表を継続して行った。 学会主導の疾患別登録事業、がん登録事業等に参加した。フィードバックされた情報を院内の関係委員会やカンファレンス等で共有し、医療の質向上に努めた。 <p>【Q I指標項目数】 単位：個</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	24	43	<p>1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本病院会、自治体病院協議会のQ I事業に参加し、そのベンチマーク結果を医療の質向上委員会で検証し、対策等の検討を行った。 	III							
H27	H28														
24	43														

中期 目標	<p>1-3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実 研修医等の研修施設として認められた病院(臨床研修病院)として、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医)の積極的な受入れを行うこと。 名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、岐阜大学医学部附属病院、岐阜県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を生かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。</p> <p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																							
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																						
08	<p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>1 質の高い医療従事者の養成</p> <p>2 後期研修医に対する研修等</p>		<p>1 質の高い医療従事者の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による講演・勉強会を実施した。(計9回実施) コメディカル研修委員会主催の合同研修会を開催し、最新の医療技術や知識の習得を図った。 <p>【医師の研修派遣実績人数】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>453</td> <td>424</td> </tr> </tbody> </table> <p>【職員を対象とした外部講師開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>講演会等名</th> <th>講師</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28. 4. 25</td> <td>臨床倫理講演会 ①臨床倫理エッセンシャルズ早分かり ②ジョンセンの4分割法による事例検討とは</td> <td>東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理 センター 特任准教授 会田 薫子先生</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>H28. 4. 26 ～ H28. 9. 16</td> <td>IT研修 (計7回開催)</td> <td>タック(株)ほか</td> <td>延 136</td> </tr> <tr> <td>H28. 5. 24 ～ H29. 2. 28</td> <td>病院経営改革研修会「当院の診療分析から」 (計4回開催)</td> <td>(株)ニチイ学館 事業統括本部 医療関連事業本部 経営支援部 部長 石富 充先生</td> <td>延 545</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	派遣	453	424	開催日	講演会等名	講師	参加者	H28. 4. 25	臨床倫理講演会 ①臨床倫理エッセンシャルズ早分かり ②ジョンセンの4分割法による事例検討とは	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理 センター 特任准教授 会田 薫子先生	139	H28. 4. 26 ～ H28. 9. 16	IT研修 (計7回開催)	タック(株)ほか	延 136	H28. 5. 24 ～ H29. 2. 28	病院経営改革研修会「当院の診療分析から」 (計4回開催)	(株)ニチイ学館 事業統括本部 医療関連事業本部 経営支援部 部長 石富 充先生	延 545	III		
区分\年度	H27	H28																										
派遣	453	424																										
開催日	講演会等名	講師	参加者																									
H28. 4. 25	臨床倫理講演会 ①臨床倫理エッセンシャルズ早分かり ②ジョンセンの4分割法による事例検討とは	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理 センター 特任准教授 会田 薫子先生	139																									
H28. 4. 26 ～ H28. 9. 16	IT研修 (計7回開催)	タック(株)ほか	延 136																									
H28. 5. 24 ～ H29. 2. 28	病院経営改革研修会「当院の診療分析から」 (計4回開催)	(株)ニチイ学館 事業統括本部 医療関連事業本部 経営支援部 部長 石富 充先生	延 545																									

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																														
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																													
			<p>【コメディカル研修実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修名</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28. 6. 6</td> <td>新規採用者研修</td> <td>コンセンサス</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>H28. 6. 21 H28. 6. 22 H28. 6. 23</td> <td>階層別研修</td> <td>ブレインストーミング</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>H28. 7. 8</td> <td>研修講演会</td> <td>①日本の医療はどこへ向かうのか? ②心のこもった接し方</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>H29. 2. 17</td> <td>職場体験</td> <td>リハビリテーション科</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H29. 2. 22</td> <td>出張研修報告会</td> <td>技術課長補佐</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>H29. 3. 6</td> <td>出張研修報告会</td> <td>管理職</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>【初期臨床研修医数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>18</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 後期研修医に対する研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月にスタートする新専門医制度について、外科領域と内科領域でプログラム申請をし、後期研修医の基幹施設として体制を進めた。 上矢作病院勤務の医師を、平成27年度に引き続き、後期研修医として週1回受け入れて研修指導をした。 <p>【後期研修医（レジデント）数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>11</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	研修名	内容	参加者	H28. 6. 6	新規採用者研修	コンセンサス	13	H28. 6. 21 H28. 6. 22 H28. 6. 23	階層別研修	ブレインストーミング	26	H28. 7. 8	研修講演会	①日本の医療はどこへ向かうのか? ②心のこもった接し方	101	H29. 2. 17	職場体験	リハビリテーション科	5	H29. 2. 22	出張研修報告会	技術課長補佐	15	H29. 3. 6	出張研修報告会	管理職	9	区分\年度	H27	H28	医師	18	21	歯科医師	2	2	区分\年度	H27	H28	医師	11	13	歯科医師	1	1		
開催日	研修名	内容	参加者																																																
H28. 6. 6	新規採用者研修	コンセンサス	13																																																
H28. 6. 21 H28. 6. 22 H28. 6. 23	階層別研修	ブレインストーミング	26																																																
H28. 7. 8	研修講演会	①日本の医療はどこへ向かうのか? ②心のこもった接し方	101																																																
H29. 2. 17	職場体験	リハビリテーション科	5																																																
H29. 2. 22	出張研修報告会	技術課長補佐	15																																																
H29. 3. 6	出張研修報告会	管理職	9																																																
区分\年度	H27	H28																																																	
医師	18	21																																																	
歯科医師	2	2																																																	
区分\年度	H27	H28																																																	
医師	11	13																																																	
歯科医師	1	1																																																	
09	※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施		<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から実習生や見学生を受け入れた。平成27年度は、特定の医師とのつながりにより医学生からの実習申し込みが一時的に増加したが、平成28年度は、例年並みの水準に落ち着い 	III																																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																					
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																				
	1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ 2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実		<p>た。見学生については、ガイダンスや医師個別のPR活動により倍増した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学生やコメディカルは専門学校や大学からの実習を積極的に受け入れたが、看護学生については、当該大学の実習実施学年が2年生から3年生に変更された影響により大幅に減少した。 <p>【学生の実習受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>32</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>541</td> <td>380</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>51</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>624</td> <td>453</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医学生の見学受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32</td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急士の生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習を定期的に実施し、医療技術の向上を図った。 <p>【救急救命士の研修実績状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯教育実習</td> <td>64</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>就業前実習</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>気管挿管実習</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>73</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	医学生	32	16	看護学生	541	380	コメディカル	51	57	合計	624	453	H27	H28	32	67	区分\年度	H27	H28	生涯教育実習	64	33	就業前実習	8	8	気管挿管実習	1	2	薬剤投与実習	0	6	合計	73	49		
区分\年度	H27	H28																																								
医学生	32	16																																								
看護学生	541	380																																								
コメディカル	51	57																																								
合計	624	453																																								
H27	H28																																									
32	67																																									
区分\年度	H27	H28																																								
生涯教育実習	64	33																																								
就業前実習	8	8																																								
気管挿管実習	1	2																																								
薬剤投与実習	0	6																																								
合計	73	49																																								

中期 目標	1-4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。
	※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を積極的に行うこと。
	※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。
	※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証									
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
10	※ 地域医療への支援 1 地域医療水準の向上 2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援	2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援 ・ 国民健康保険上矢作病院、中津川市民病院に加え、新たに土岐市立総合病院へ医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。 <table border="1" data-bbox="562 707 1171 1098"> <thead> <tr> <th>派遣医療機関</th> <th>派遣状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康保険上矢作病院</td> <td>週1日(当直業務) 1人(6人で交代) 延べ51人 研修医を5ヶ月(延べ5人)</td> </tr> <tr> <td>中津川市民病院</td> <td>脳神経外科 4月～翌3月 毎週木曜日 1人(2人で隔週交代) 延べ46人</td> </tr> <tr> <td>土岐市立総合病院</td> <td>循環器内科 5/12～翌3月 毎週木曜日 1人(6人で隔週交代) 延べ42人</td> </tr> </tbody> </table>	派遣医療機関	派遣状況	国民健康保険上矢作病院	週1日(当直業務) 1人(6人で交代) 延べ51人 研修医を5ヶ月(延べ5人)	中津川市民病院	脳神経外科 4月～翌3月 毎週木曜日 1人(2人で隔週交代) 延べ46人	土岐市立総合病院	循環器内科 5/12～翌3月 毎週木曜日 1人(6人で隔週交代) 延べ42人	1 地域医療水準の向上 ・ 年4回開催した地域医療連携推進協議会を通じ、医師会長をはじめとする関係者に医療連携の推進、高度医療機器、開放型病床の利用促進を図るとともに、医療連携講演会、症例検討会等を開催して地域医療の質の向上に努めた。 ・ 東濃、可児地域の8病院で組織された東濃・可児地域病院連携推進会議(年2回開催)を通じ、病院間で協力、提携した診療を模索し、それぞれの医療資源を有効活用したより良い診療環境の提供について検討を行った。また県主導で地域医療構想が進められる中、各病院の機能について、今後の方向性等について意見交換を行った。	III		
派遣医療機関	派遣状況													
国民健康保険上矢作病院	週1日(当直業務) 1人(6人で交代) 延べ51人 研修医を5ヶ月(延べ5人)													
中津川市民病院	脳神経外科 4月～翌3月 毎週木曜日 1人(2人で隔週交代) 延べ46人													
土岐市立総合病院	循環器内科 5/12～翌3月 毎週木曜日 1人(6人で隔週交代) 延べ42人													
11	※ 社会的な要請への協力	・ 医療系専門学校、大学、企業、地域、近隣の病院や施設等の要請に応じ、医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師として派遣した。また、医療に関する鑑定調査(精神医療審査会、警察の死体検案等)、地域イベント(陶器まつり、茶碗まつりの救護班)に協力した。 <p>【講師等派遣の状況】 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="562 1353 1037 1423"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>171</td> <td>188</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	医師	171	188		III				
区分\年度	H27	H28												
医師	171	188												

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組			その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																		
							検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																	
		看護師	32	33																					
		コメディカル	23	18																					
		合計	226	239																					
12	※ 保健医療情報の提供・発信 1 公開講座、医療相談会等の開催 2 保健医療、健康管理等の情報提供	1 公開講座、医療相談会等の開催 ・ 市民公開講座・緩和ケア市民公開講座や、医師、看護師等による出前講座（健康づくり講座）等を行った。健康づくり講座の開催地を拡大し、従来の多治見市内のほか可見市、土岐市、瑞浪市、恵那市で企画開催した。 【市民を対象とした公開講座、医療相談等開催実績】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>公開講座等名</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28. 11. 19</td> <td>緩和ケア市民公開講座 ここまでできる！在宅医療 ～おとなりの地域の経験者たち にも聞いてみよう～</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H28. 11. 27</td> <td>市民公開講座 健康寿命を延ばそう！ ～生活習慣の改善と運動による 健康づくり～</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>ミニ講座 薬とサプリメントについて</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>H28. 11. 27</td> <td>秋まつり ブースにて内視鏡手術体験など を実施</td> <td>524</td> </tr> <tr> <td>年15回</td> <td>健康づくり講座 おくすりの話 他</td> <td>437</td> </tr> </tbody> </table> 2 保健医療、健康管理等の情報提供 ・ 年2回の病院広報誌の発行、地域情報誌等やホームページを活用した広報活動等により、医療に関する情報を積極的に発信した。 ・ 東濃・可見地域病連携推進会議を構成する8病院合同で中日新聞の特集記事を企画し、地域医療を守る病院長の決意メッセージを発信した。			開催日	公開講座等名	参加者	H28. 11. 19	緩和ケア市民公開講座 ここまでできる！在宅医療 ～おとなりの地域の経験者たち にも聞いてみよう～	171	H28. 11. 27	市民公開講座 健康寿命を延ばそう！ ～生活習慣の改善と運動による 健康づくり～	70	ミニ講座 薬とサプリメントについて	40	H28. 11. 27	秋まつり ブースにて内視鏡手術体験など を実施	524	年15回	健康づくり講座 おくすりの話 他	437		III		
開催日	公開講座等名	参加者																							
H28. 11. 19	緩和ケア市民公開講座 ここまでできる！在宅医療 ～おとなりの地域の経験者たち にも聞いてみよう～	171																							
H28. 11. 27	市民公開講座 健康寿命を延ばそう！ ～生活習慣の改善と運動による 健康づくり～	70																							
	ミニ講座 薬とサプリメントについて	40																							
H28. 11. 27	秋まつり ブースにて内視鏡手術体験など を実施	524																							
年15回	健康づくり講座 おくすりの話 他	437																							

中期 目標	1-5 災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム(以下「DMAT」という。)の派遣など医療救護を行うことを求める。
	<p>※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは東濃地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 災害拠点病院としての機能を十分に発揮できるよう、医療物資(医薬品、診療材料、給食材料など)の優先納入体制の整備など災害時医療体制の充実・強化を図ること。</p> <p>※ 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づきDMATを派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。</p> <p>※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画の作成及び訓練等を実施すること。</p> <p>※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受入れ、重症症例の治療等を行うこと。 感染症指定医療機関として、平時から患者を受け入れられる体制を整備するとともに、東濃地域の医療機関に対して医療情報の提供など指導的役割を担うこと。</p>

項目 No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項															
13	<p>※ 医療救護活動の拠点機能の充実</p> <p>1 医療救護活動の拠点機能の充実</p> <p>2 災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進</p>	<p>2 災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県防災情報通信システムの地上系設備(防災無線、防災FAX、無停電電源装置)を更新設置に協力した。 	<p>1 医療救護活動の拠点機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害を想定した災害実働訓練や、夜間などを想定した消防訓練を実施して機能を検証した。また、災害時に活用する備品(インカム、ランタンなど)を整備した。 <p>【災害訓練の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害実働訓練</td> <td>H28. 11. 10</td> <td>震度6強の直下型地震を想定したトリアージ訓練</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">消防訓練</td> <td>H28. 7. 27</td> <td>被災状況確認に無線機・電カルを使用</td> </tr> <tr> <td>H29. 3. 10</td> <td>夜間想定</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	備考	災害実働訓練	H28. 11. 10	震度6強の直下型地震を想定したトリアージ訓練	消防訓練	H28. 7. 27	被災状況確認に無線機・電カルを使用	H29. 3. 10	夜間想定	III						
	開催日	備考																			
災害実働訓練	H28. 11. 10	震度6強の直下型地震を想定したトリアージ訓練																			
消防訓練	H28. 7. 27	被災状況確認に無線機・電カルを使用																			
	H29. 3. 10	夜間想定																			
14	<p>※ 他県等の医療救護への協力</p> <p>1 DMATの質の向上と維持</p> <p>2 大規模災害発生時のDMATの派遣</p>	<p>2 大規模災害発生時のDMATの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本地震に対して医療救護班として5名(内DMAT隊員4名)を、「こころのケア」に対する支援のため災害派遣精神医療チーム4名(DPAT: Disaster Psychiatric Assistance Team)を派遣し、支援活動に従事させた。 <p>【熊本地震に対する活動実績】 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施期間</th> <th>活動内容</th> <th>派遣人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28. 4. 25 ~ H28. 4. 30</td> <td>医療救護班</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	実施期間	活動内容	派遣人数	H28. 4. 25 ~ H28. 4. 30	医療救護班	5	<p>1 DMATの質の向上と維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 国(厚生労働省)、中部地区、県などが関係する訓練に積極的に参加し、質の維持と向上を図った。 <p>【主なDMAT活動訓練等実績】 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施期間</th> <th>訓練内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28. 8. 6</td> <td>政府総合防災訓練(大規模地震時医療活動訓練)</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H29. 1. 8 ~ H29. 1. 9</td> <td>中部ブロック技能維持研修(開催地:愛知県)</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	実施期間	訓練内容	参加人数	H28. 8. 6	政府総合防災訓練(大規模地震時医療活動訓練)	10	H29. 1. 8 ~ H29. 1. 9	中部ブロック技能維持研修(開催地:愛知県)	2	IV		
実施期間	活動内容	派遣人数																			
H28. 4. 25 ~ H28. 4. 30	医療救護班	5																			
実施期間	訓練内容	参加人数																			
H28. 8. 6	政府総合防災訓練(大規模地震時医療活動訓練)	10																			
H29. 1. 8 ~ H29. 1. 9	中部ブロック技能維持研修(開催地:愛知県)	2																			

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組			その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)			自己 評価	評価委員会の検証						
									検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項					
		H28. 5. 12 ~ H28. 5. 17	災害派遣精神医療チーム	4	H29. 1. 30 ~ H29. 1. 31	中部ブロック技能維持研修 (開催地：山梨県)	1								
15	<p>※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立</p> <p>1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備</p> <p>2 診療情報のバックアップシステムの構築</p>	<p>2 診療情報のバックアップシステムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部の場所にバックアップした診療情報を、被災時に活用できるシステムを検討し、平成 29 年度に導入できるようにサーバー側のプログラミングを行った。 			<p>1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害対応マニュアルを改定整備し、全職員へ配布した。また業務継続計画（BCP）の策定に取り組み、一部の部門で策定施行した。 災害時に診療機能が停止しないよう実践的な訓練を実施した。 			III							
16	<p>※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮</p> <p>1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備</p> <p>2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施</p> <p>3 感染症指定医療機関としての役割の発揮</p>				<p>1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務計画や必要な資材の備蓄等の見直しを行い受け入れ体制を維持した。 <p>2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザ等が発生した場合に受入れを行う病棟職員を対象に個人防護具の着脱訓練を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>対象者</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28. 11. 17</td> <td>西病棟 4 階 (感染症病床スタッフ)</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 感染症指定医療機関としての役割の発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 東濃地域新型インフルエンザ等対策会議に参加をして、受入れ体制について意見交換を行った。 感染対策マニュアルの改訂を行うとともにサイボウズ (院内職員共有イントラネット) で常時閲覧できる環境を整え、院内感染対策に努めた。 			実施日	対象者	参加人数	H28. 11. 17	西病棟 4 階 (感染症病床スタッフ)	15	III	
実施日	対象者	参加人数													
H28. 11. 17	西病棟 4 階 (感染症病床スタッフ)	15													

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立	自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	※ 効果的な組織体制の確立	医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ITの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。 危機管理事案等発生時における情報共有体制を確立すること。
	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用	医療需要の変化に迅速に対応するため、診療科の変更や医師、看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
	※ 人事評価システムの構築	職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験、勤務実績等を反映させた新たな公平で客観的な人事評価制度の構築を図ること。
	※ 事務部門の専門性の向上	事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保し、及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底	職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。
	※ 適切な情報管理	業務の情報化に対応して、情報セキュリティ対策に努めること。

項目No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証	
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
17	※ 効果的な組織体制の確立 1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 2 各種業務のIT化の推進 3 アウトソーシング導入などによる合理化 4 経営効率の高い業務執行体制の確立 5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立	3 アウトソーシング導入などによる合理化 ・ 栄養管理部の業務合理化(栄養指導業務等に専念できる体制強化)のため、患者給食業務の全面委託(単価契約)を決定した。プロポーザル方式により業者を選定し、平成29年度からの業務開始に向けて委託契約を締結した。 ・ 中央材料室等管理業務委託を委託業務評価の対象とし、業務が契約内容に基づき適切に実施されているかを検証し、改善や意識向上を図った。 ※平成27年度に委託業務評価に関する実施要領を制定し、業務委託契約の内容を点検、評価している。各委託業者自己評価に基づき内容を検証し、次年度以降の改善・向上に寄与している。	1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 ・ 管理課の設置、経営企画課を企画財務課に改編し、組織・業務体制の見直しを行った。 ※平成29年度に管理課と企画財務課の業務見直しにより用度システム管理室、施設整備課、企画財務課に改編 2 各種業務のIT化の推進 ・ Microsoft Officeや携帯情報端末などのIT研修会を年8回実施し、職員のスキルアップを促進した。また、医療総合情報システムのプログラム改修やスマートメディア端末の導入により、操作性や利便性を向上させた。	III		

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
			<p>4 経営効率の高い業務執行体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約業務の適正化、及び改善・向上対策を図るため、医療コンサルタントを活用した。また、委託業務評価を行い、その評価結果に基づき契約内容を検証し、必要に応じて改善及び向上を図った。 <p>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急連絡システム配信試験を2回実施し、職員の安否確認訓練を行った。返信率、登録率が向上した。 			
18	<p>※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用</p> <p>1 弾力的運用の実施</p> <p>2 効果的な体制による医療の提供</p> <p>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</p>		<p>1 弾力的運用の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 麻酔科医の大幅な減員に伴って困難となった緊急手術や救命救急センター当直について、各診療科医師の多大な協力による弾力的運用により業務体制を維持し得た。 <p>2 効果的な体制による医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師事務作業補助者 43 人を3つのグループに分け、グループごとにフォローアップする体制を構築した。医師事務補助体制 15 対 1 を継続して充足することができ、質の高い医療の提供を維持できている。 <p>【研修の実施】</p> <p>① 日本医師事務作業補助研究会への参加（13人） 学習した内容は、資料の回覧や医師クラークミーティングでの発表により、全員にフィードバック</p> <p>② 院内研修会の開催（45回）</p> <p>③ 新規採用者に35時間の研修を実施</p> <p>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師、看護師やメディカルなどの医療従事者の人事交流実績はなかった。 	III		

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証							
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項						
19	※ 人事評価システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に試行した人事評価システムを本格実施するとともに、平成29年度に新設される目標管理、業務貢献手当と関連付け、評価制度の一部見直しを行った。 		III								
20	※ 事務部門の専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 事務部門の専門・階層別研修に関する方針・計画を作成し、外部講師等を活用した研修を実施し、職員の資質向上を図った。また平成 29 年度に向けて新たにマネジメント研修等の企画、検討を行った。 新任の課長補佐及び主査チーフが、中堅職員向けの公開講座に参加した。 <p>【新規採用職員の主な研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①マナー・コミュニケーション研修 ②ワークショップ研修～配属からこれまでを振り返って <p>【階層別研修】</p> <p>＜新任の課長補佐及び主査チーフ＞ 対象者数：5 人 内 容：公開講座への参加 「中堅職員研修～管理職を補佐し、部の成果を出す！」</p> <p>＜課長補佐及び主査チーフ級＞ 内 容：将来の管理職昇任に向けて 個人及びグループワーク 対象者数：10 人 開 催 日：平成 29 年 2 月 15 日</p> <p>＜主査/主任級＞ 内 容：目標管理・評価表をツールとしたグループワーク 参加者数：10 人 開 催 日：2 グループに分け、各 2 回開催</p>		III								
21	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底		<ul style="list-style-type: none"> 監事監査や内部監査による確認指導に加え、医師をはじめとした全部門において、所属長等によるコンプライアンス研修を実施した。 <p>【コンプライアンス研修開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催期間</th> <th>講師・開催回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28. 4. 7～ H28. 9. 30</td> <td>各部門長 計 17 回</td> <td>641</td> </tr> </tbody> </table>	開催期間	講師・開催回数	参加者	H28. 4. 7～ H28. 9. 30	各部門長 計 17 回	641	III		
開催期間	講師・開催回数	参加者										
H28. 4. 7～ H28. 9. 30	各部門長 計 17 回	641										

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
22	※ 適切な情報管理		<ul style="list-style-type: none"> 職員等に対する情報セキュリティ研修や、情報セキュリティチェック（チェックシートによる自己確認）を実施した。また、不正接続検知システム、端末管理システムの拡充を行った。 	III		

中期 目標	<p>2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。 ※ 収入の確保 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。 ※ 費用の削減 薬剤・診療材料の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の節減に努めること。
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																					
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
23	※ 多様な契約手法の導入		<ul style="list-style-type: none"> 「患者給食業務」「新中央診療棟整備基本計画策定支援業務」などの業務委託について、複数年契約やプロポーザル方式による業者選定を実施した。 施設管理の業務委託の見直しを重点項目と位置づけ、平成29年度事業の契約額について対前年比5%削減を目標に交渉を行った。エレベータの保守管理、廃棄物運搬処理等の複数の業務で目標を達成できた。 	III																						
24	<p>※ 収入の確保</p> <p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <p>2 未収金の発生防止対策等</p> <p>3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p>	<p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> DPCデータを基にした分析システムを活用し、病院の現状を明確化することにより診療報酬に直接関係のあるDPC機能評価係数を上げることができ、経営向上、医療の質向上を図った。 ※ DPC機能評価係数II H27 年度係数 0.0643 H28 年度係数 0.0758 <p>【病床管理状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規入院患者(単位:人)</td> <td>13,984</td> <td>13,886</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H27	H28	新規入院患者(単位:人)	13,984	13,886	<p>2 未収金の発生防止対策等</p> <ul style="list-style-type: none"> 弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、未収金管理システムを活用して債権の徴収状況を定期的に把握しながら効果的な回収を進めた。 <p>【未収金の発生状況】 (各年度末時点※)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> </tr> <tr> <th>件数 (単位:件)</th> <th>金額 (単位:千円)</th> <th>件数 (単位:件)</th> <th>金額 (単位:千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過 年</td> <td>483</td> <td>33,903</td> <td>422</td> <td>29,625</td> </tr> </tbody> </table>		H27		H28		件数 (単位:件)	金額 (単位:千円)	件数 (単位:件)	金額 (単位:千円)	過 年	483	33,903	422	29,625	III		
項目\年度	H27	H28																								
新規入院患者(単位:人)	13,984	13,886																								
	H27		H28																							
	件数 (単位:件)	金額 (単位:千円)	件数 (単位:件)	金額 (単位:千円)																						
過 年	483	33,903	422	29,625																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																									
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																								
		<table border="1"> <tr> <td>延入院患者 (単位:人)</td> <td></td> <td>171,656</td> <td>172,398</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平均在院日数 (単位:日)</td> <td>全体</td> <td>11.3</td> <td>11.4</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>10.6</td> <td>10.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一人当たり 入院単価 (単位:円)</td> <td>全体</td> <td>63,511</td> <td>65,152</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>66,210</td> <td>67,672</td> </tr> </table> <p>(参考)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一日当たり外来患者数 (単位:人)</td> <td>1,191</td> <td>1,119</td> </tr> <tr> <td>一人当たり外来単価 (単位:円)</td> <td>15,963</td> <td>16,990</td> </tr> </tbody> </table>	延入院患者 (単位:人)		171,656	172,398	平均在院日数 (単位:日)	全体	11.3	11.4	一般	10.6	10.8	一人当たり 入院単価 (単位:円)	全体	63,511	65,152	一般	66,210	67,672	項目\年度	H27	H28	一日当たり外来患者数 (単位:人)	1,191	1,119	一人当たり外来単価 (単位:円)	15,963	16,990	<table border="1"> <tr> <td>分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>281</td> <td>17,061</td> <td>582</td> <td>22,760</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合</td> <td>764</td> <td>50,964</td> <td>1,004</td> <td>52,385</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※年度末時点での4月以降の診療報酬収納分を除く</p> <p>3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設基準要件の遵守状況の確実な把握に努め、適時適確な届出と算定による収入確保に努めた。 外部機関を活用しDPC係数、診療密度、看護必要度など詳細に分析、他院との比較を通じて病院全体及び疾患別の課題について院内各科での研修を実施し収益向上に努めた。 医療政策の動向等から、今後重要性が増すと想定される分野についての体制の充実などの対応を進める。 	分					現					年	281	17,061	582	22,760	分					合	764	50,964	1,004	52,385	計						
延入院患者 (単位:人)		171,656	172,398																																																											
平均在院日数 (単位:日)	全体	11.3	11.4																																																											
	一般	10.6	10.8																																																											
一人当たり 入院単価 (単位:円)	全体	63,511	65,152																																																											
	一般	66,210	67,672																																																											
項目\年度	H27	H28																																																												
一日当たり外来患者数 (単位:人)	1,191	1,119																																																												
一人当たり外来単価 (単位:円)	15,963	16,990																																																												
分																																																														
現																																																														
年	281	17,061	582	22,760																																																										
分																																																														
合	764	50,964	1,004	52,385																																																										
計																																																														
25	<p>※ 費用の削減</p> <p>1 在庫管理の徹底などによる費用の削減</p> <p>2 有効性・安全性に考慮した後発医薬品の採用</p>	<p>2 有効性・安全性に考慮した後発医薬品の採用</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬品費削減ならびに診療報酬上の観点から各診療科へ説明と協力を働きかけ、数量ベースで後発採用率80%以上の目標を達成した。医薬品採用については、名称誤認に配慮した医療安全面と後発医薬品の安定供給等の要素を考慮した製剤選択を行った。 <p>【後発医薬品(ジェネリック)の使用比率】 単位:%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>69.90</td> <td>70.56</td> </tr> <tr> <td>数量ベース</td> <td>82.44</td> <td>89.55</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>35.70</td> <td>38.04</td> </tr> </tbody> </table> <p>※使用比率は後発医薬品がある中での割合</p>	区分\年度	H27	H28	品目ベース	69.90	70.56	数量ベース	82.44	89.55	金額ベース	35.70	38.04	<p>1 在庫管理の徹底などによる費用の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期の在庫定数見直しを通じて、在庫品の削減に取り組み、診療材料の院内在庫を抑制した。また、今年度新たに導入した診療材料のベンチマークシステムや医療コンサルタントを活用し、効果的に価格交渉を行い、医薬品及び診療材料費の削減に努めた。 <p>【医薬収益に対する材料費比率】 単位:%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>15.62</td> <td>16.10</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>10.12</td> <td>9.73</td> </tr> </tbody> </table> <p>【薬品費及び診療材料費】 単位:千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>2,459,254</td> <td>2,619,397</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>1,592,602</td> <td>1,582,848</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	薬品費	15.62	16.10	診療材料費	10.12	9.73	区分\年度	H27	H28	薬品費	2,459,254	2,619,397	診療材料費	1,592,602	1,582,848	III																												
区分\年度	H27	H28																																																												
品目ベース	69.90	70.56																																																												
数量ベース	82.44	89.55																																																												
金額ベース	35.70	38.04																																																												
区分\年度	H27	H28																																																												
薬品費	15.62	16.10																																																												
診療材料費	10.12	9.73																																																												
区分\年度	H27	H28																																																												
薬品費	2,459,254	2,619,397																																																												
診療材料費	1,592,602	1,582,848																																																												

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期 目標	※ 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率100%以上を達成すること。 ※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院のうち黒字病院であるものの当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標期間の最終年度までに達成すること。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																																	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																
26	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を効果的に進めるなどして、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。	・ 医業収益の増と経費節減などの努力によって、経常収支比率100.7%となった。職員給与費対医業収益比率は目標の50%以下を上回ったため、業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していく。 【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>100.5</td> <td>100.7</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>51.5</td> <td>51.7</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	経常収支	100.5	100.7	職員給与費	51.5	51.7		IV																																																																									
区分\年度	H27	H28																																																																																				
経常収支	100.5	100.7																																																																																				
職員給与費	51.5	51.7																																																																																				
1	1 予算 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td></td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>17,018</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>15,994</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>950</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>74</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>87</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>49</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>38</td></tr> <tr><td> 資本収入</td><td>1,239</td></tr> <tr><td> 長期借入金</td><td>740</td></tr> <tr><td> 運営費負担金</td><td>376</td></tr> <tr><td> その他資本収入</td><td>123</td></tr> <tr><td> その他の収入</td><td>0</td></tr> <tr><td> 計</td><td>18,344</td></tr> <tr><td>支出</td><td></td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>15,475</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>15,091</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>8,139</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>4,262</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	17,018	医業収益	15,994	運営費負担金収益	950	その他営業収益	74	営業外収益	87	運営費負担金収益	49	その他営業外収益	38	資本収入	1,239	長期借入金	740	運営費負担金	376	その他資本収入	123	その他の収入	0	計	18,344	支出		営業費用	15,475	医業費用	15,091	給与費	8,139	材料費	4,262	1 決算 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td></td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>17,726</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>16,698</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>963</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>65</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>84</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>48</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>36</td></tr> <tr><td> 資本収入</td><td>477</td></tr> <tr><td> 長期借入金</td><td>40</td></tr> <tr><td> 運営費負担金</td><td>380</td></tr> <tr><td> その他資本収入</td><td>57</td></tr> <tr><td> その他の収入</td><td>0</td></tr> <tr><td> 計</td><td>18,228</td></tr> <tr><td>支出</td><td></td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>15,659</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>15,247</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>7,953</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>4,642</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	17,726	医業収益	16,698	運営費負担金収益	963	その他営業収益	65	営業外収益	84	運営費負担金収益	48	その他営業外収益	36	資本収入	477	長期借入金	40	運営費負担金	380	その他資本収入	57	その他の収入	0	計	18,228	支出		営業費用	15,659	医業費用	15,247	給与費	7,953	材料費	4,642				
区 分	金 額																																																																																					
収入																																																																																						
営業収益	17,018																																																																																					
医業収益	15,994																																																																																					
運営費負担金収益	950																																																																																					
その他営業収益	74																																																																																					
営業外収益	87																																																																																					
運営費負担金収益	49																																																																																					
その他営業外収益	38																																																																																					
資本収入	1,239																																																																																					
長期借入金	740																																																																																					
運営費負担金	376																																																																																					
その他資本収入	123																																																																																					
その他の収入	0																																																																																					
計	18,344																																																																																					
支出																																																																																						
営業費用	15,475																																																																																					
医業費用	15,091																																																																																					
給与費	8,139																																																																																					
材料費	4,262																																																																																					
区 分	金 額																																																																																					
収入																																																																																						
営業収益	17,726																																																																																					
医業収益	16,698																																																																																					
運営費負担金収益	963																																																																																					
その他営業収益	65																																																																																					
営業外収益	84																																																																																					
運営費負担金収益	48																																																																																					
その他営業外収益	36																																																																																					
資本収入	477																																																																																					
長期借入金	40																																																																																					
運営費負担金	380																																																																																					
その他資本収入	57																																																																																					
その他の収入	0																																																																																					
計	18,228																																																																																					
支出																																																																																						
営業費用	15,659																																																																																					
医業費用	15,247																																																																																					
給与費	7,953																																																																																					
材料費	4,642																																																																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																																																	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																
	<table border="1"> <tr><td>経費</td><td>2,594</td></tr> <tr><td>研究研修費</td><td>96</td></tr> <tr><td>一般管理費</td><td>384</td></tr> <tr><td>給与費</td><td>250</td></tr> <tr><td>経費</td><td>134</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>84</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>2,343</td></tr> <tr><td> 建設改良費</td><td>1,692</td></tr> <tr><td> 償還金</td><td>610</td></tr> <tr><td> その他資本支出</td><td>41</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>10</td></tr> <tr><td>計</td><td>17,912</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	経費	2,594	研究研修費	96	一般管理費	384	給与費	250	経費	134	営業外費用	84	資本支出	2,343	建設改良費	1,692	償還金	610	その他資本支出	41	その他の支出	10	計	17,912	<table border="1"> <tr><td>経費</td><td>2,600</td></tr> <tr><td>研究研修費</td><td>52</td></tr> <tr><td>一般管理費</td><td>412</td></tr> <tr><td>給与費</td><td>308</td></tr> <tr><td>経費</td><td>104</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>83</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>1,334</td></tr> <tr><td> 建設改良費</td><td>666</td></tr> <tr><td> 償還金</td><td>610</td></tr> <tr><td> その他資本支出</td><td>58</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>17,076</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	経費	2,600	研究研修費	52	一般管理費	412	給与費	308	経費	104	営業外費用	83	資本支出	1,334	建設改良費	666	償還金	610	その他資本支出	58	その他の支出	0	計	17,076																																																				
経費	2,594																																																																																																					
研究研修費	96																																																																																																					
一般管理費	384																																																																																																					
給与費	250																																																																																																					
経費	134																																																																																																					
営業外費用	84																																																																																																					
資本支出	2,343																																																																																																					
建設改良費	1,692																																																																																																					
償還金	610																																																																																																					
その他資本支出	41																																																																																																					
その他の支出	10																																																																																																					
計	17,912																																																																																																					
経費	2,600																																																																																																					
研究研修費	52																																																																																																					
一般管理費	412																																																																																																					
給与費	308																																																																																																					
経費	104																																																																																																					
営業外費用	83																																																																																																					
資本支出	1,334																																																																																																					
建設改良費	666																																																																																																					
償還金	610																																																																																																					
その他資本支出	58																																																																																																					
その他の支出	0																																																																																																					
計	17,076																																																																																																					
2	<p>2 収支計画 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>17,080</td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>16,993</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>15,964</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>950</td></tr> <tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>73</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>87</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>48</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>39</td></tr> <tr><td> 臨時利益</td><td>0</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>16,996</td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>16,523</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>16,119</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>8,131</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>4,198</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,433</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>1,268</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>89</td></tr> <tr><td> 一般管理費</td><td>404</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>250</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>26</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>128</td></tr> <tr><td> 営業外費用</td><td>463</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収益の部	17,080	営業収益	16,993	医業収益	15,964	運営費負担金収益	950	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	73	営業外収益	87	運営費負担金収益	48	その他営業外収益	39	臨時利益	0	費用の部	16,996	営業費用	16,523	医業費用	16,119	給与費	8,131	材料費	4,198	経費	2,433	減価償却費	1,268	研究研修費	89	一般管理費	404	給与費	250	減価償却費	26	経費	128	営業外費用	463	<p>2 収支計画に対する実績 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>17,370</td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>17,276</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>16,266</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>940</td></tr> <tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>64</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>87</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>48</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>39</td></tr> <tr><td> 臨時利益</td><td>7</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>17,267</td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>16,589</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>16,154</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>8,106</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>4,293</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,446</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>1,260</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>49</td></tr> <tr><td> 一般管理費</td><td>435</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>309</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>25</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>101</td></tr> <tr><td> 営業外費用</td><td>652</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収益の部	17,370	営業収益	17,276	医業収益	16,266	運営費負担金収益	940	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	64	営業外収益	87	運営費負担金収益	48	その他営業外収益	39	臨時利益	7	費用の部	17,267	営業費用	16,589	医業費用	16,154	給与費	8,106	材料費	4,293	経費	2,446	減価償却費	1,260	研究研修費	49	一般管理費	435	給与費	309	減価償却費	25	経費	101	営業外費用	652				
区 分	金 額																																																																																																					
収益の部	17,080																																																																																																					
営業収益	16,993																																																																																																					
医業収益	15,964																																																																																																					
運営費負担金収益	950																																																																																																					
資産見返負債戻入	6																																																																																																					
その他営業収益	73																																																																																																					
営業外収益	87																																																																																																					
運営費負担金収益	48																																																																																																					
その他営業外収益	39																																																																																																					
臨時利益	0																																																																																																					
費用の部	16,996																																																																																																					
営業費用	16,523																																																																																																					
医業費用	16,119																																																																																																					
給与費	8,131																																																																																																					
材料費	4,198																																																																																																					
経費	2,433																																																																																																					
減価償却費	1,268																																																																																																					
研究研修費	89																																																																																																					
一般管理費	404																																																																																																					
給与費	250																																																																																																					
減価償却費	26																																																																																																					
経費	128																																																																																																					
営業外費用	463																																																																																																					
区 分	金 額																																																																																																					
収益の部	17,370																																																																																																					
営業収益	17,276																																																																																																					
医業収益	16,266																																																																																																					
運営費負担金収益	940																																																																																																					
資産見返負債戻入	6																																																																																																					
その他営業収益	64																																																																																																					
営業外収益	87																																																																																																					
運営費負担金収益	48																																																																																																					
その他営業外収益	39																																																																																																					
臨時利益	7																																																																																																					
費用の部	17,267																																																																																																					
営業費用	16,589																																																																																																					
医業費用	16,154																																																																																																					
給与費	8,106																																																																																																					
材料費	4,293																																																																																																					
経費	2,446																																																																																																					
減価償却費	1,260																																																																																																					
研究研修費	49																																																																																																					
一般管理費	435																																																																																																					
給与費	309																																																																																																					
減価償却費	25																																																																																																					
経費	101																																																																																																					
営業外費用	652																																																																																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																																																									
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																								
	<table border="1"> <tr><td>臨時損失</td><td>0</td></tr> <tr><td>予備費</td><td>10</td></tr> <tr><td>純利益</td><td>84</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総利益</td><td>84</td></tr> </table> (注記 略)	臨時損失	0	予備費	10	純利益	84	目的積立金取崩額	0	総利益	84	<table border="1"> <tr><td>臨時損失</td><td>26</td></tr> <tr><td>予備費</td><td>0</td></tr> <tr><td>純利益</td><td>103</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総利益</td><td>103</td></tr> </table> (注記 略)	臨時損失	26	予備費	0	純利益	103	目的積立金取崩額	0	総利益	103																																																																																								
臨時損失	0																																																																																																													
予備費	10																																																																																																													
純利益	84																																																																																																													
目的積立金取崩額	0																																																																																																													
総利益	84																																																																																																													
臨時損失	26																																																																																																													
予備費	0																																																																																																													
純利益	103																																																																																																													
目的積立金取崩額	0																																																																																																													
総利益	103																																																																																																													
	3 資金計画 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>26,524</td></tr> <tr><td>業務活動による収入</td><td>17,105</td></tr> <tr><td>診療業務による収入</td><td>15,994</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>998</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による収入</td><td>113</td></tr> <tr><td>投資活動による収入</td><td>163</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>40</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による収入</td><td>123</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>1,075</td></tr> <tr><td>長期借入による収入</td><td>740</td></tr> <tr><td>その他の財務活動による収入</td><td>335</td></tr> <tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>8,181</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>26,524</td></tr> <tr><td>業務活動による支出</td><td>15,559</td></tr> <tr><td>給与費支出</td><td>8,389</td></tr> <tr><td>材料費支出</td><td>4,262</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による支出</td><td>2,908</td></tr> <tr><td>投資活動による支出</td><td>1,733</td></tr> <tr><td>有形固定資産の取得による支出</td><td>1,692</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による支出</td><td>41</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>610</td></tr> <tr><td>長期借入金の返済による支出</td><td>282</td></tr> <tr><td>前前地方債償還義務の償還による支出</td><td>307</td></tr> <tr><td>その他財務活動による支出</td><td>21</td></tr> <tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>8,622</td></tr> </tbody> </table> (注記 略)	区 分	金 額	資金収入	26,524	業務活動による収入	17,105	診療業務による収入	15,994	運営費負担金による収入	998	その他の業務活動による収入	113	投資活動による収入	163	運営費負担金による収入	40	その他の投資活動による収入	123	財務活動による収入	1,075	長期借入による収入	740	その他の財務活動による収入	335	前事業年度からの繰越金	8,181	資金支出	26,524	業務活動による支出	15,559	給与費支出	8,389	材料費支出	4,262	その他の業務活動による支出	2,908	投資活動による支出	1,733	有形固定資産の取得による支出	1,692	その他の投資活動による支出	41	財務活動による支出	610	長期借入金の返済による支出	282	前前地方債償還義務の償還による支出	307	その他財務活動による支出	21	翌事業年度への繰越金	8,622	3 資金計画に対する実績 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>26,082</td></tr> <tr><td>業務活動による収入</td><td>17,438</td></tr> <tr><td>診療業務による収入</td><td>16,206</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>1,011</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による収入</td><td>221</td></tr> <tr><td>投資活動による収入</td><td>51</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>45</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による収入</td><td>6</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>375</td></tr> <tr><td>長期借入による収入</td><td>40</td></tr> <tr><td>その他の財務活動による収入</td><td>335</td></tr> <tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>8,218</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>26,082</td></tr> <tr><td>業務活動による支出</td><td>16,024</td></tr> <tr><td>給与費支出</td><td>6,793</td></tr> <tr><td>材料費支出</td><td>4,617</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による支出</td><td>4,614</td></tr> <tr><td>投資活動による支出</td><td>897</td></tr> <tr><td>有形固定資産の取得による支出</td><td>864</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による支出</td><td>33</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>615</td></tr> <tr><td>長期借入金の返済による支出</td><td>282</td></tr> <tr><td>前前地方債償還義務の償還による支出</td><td>307</td></tr> <tr><td>その他財務活動による支出</td><td>26</td></tr> <tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>8,546</td></tr> </tbody> </table> (注記 略)	区 分	金 額	資金収入	26,082	業務活動による収入	17,438	診療業務による収入	16,206	運営費負担金による収入	1,011	その他の業務活動による収入	221	投資活動による収入	51	運営費負担金による収入	45	その他の投資活動による収入	6	財務活動による収入	375	長期借入による収入	40	その他の財務活動による収入	335	前事業年度からの繰越金	8,218	資金支出	26,082	業務活動による支出	16,024	給与費支出	6,793	材料費支出	4,617	その他の業務活動による支出	4,614	投資活動による支出	897	有形固定資産の取得による支出	864	その他の投資活動による支出	33	財務活動による支出	615	長期借入金の返済による支出	282	前前地方債償還義務の償還による支出	307	その他財務活動による支出	26	翌事業年度への繰越金	8,546				
区 分	金 額																																																																																																													
資金収入	26,524																																																																																																													
業務活動による収入	17,105																																																																																																													
診療業務による収入	15,994																																																																																																													
運営費負担金による収入	998																																																																																																													
その他の業務活動による収入	113																																																																																																													
投資活動による収入	163																																																																																																													
運営費負担金による収入	40																																																																																																													
その他の投資活動による収入	123																																																																																																													
財務活動による収入	1,075																																																																																																													
長期借入による収入	740																																																																																																													
その他の財務活動による収入	335																																																																																																													
前事業年度からの繰越金	8,181																																																																																																													
資金支出	26,524																																																																																																													
業務活動による支出	15,559																																																																																																													
給与費支出	8,389																																																																																																													
材料費支出	4,262																																																																																																													
その他の業務活動による支出	2,908																																																																																																													
投資活動による支出	1,733																																																																																																													
有形固定資産の取得による支出	1,692																																																																																																													
その他の投資活動による支出	41																																																																																																													
財務活動による支出	610																																																																																																													
長期借入金の返済による支出	282																																																																																																													
前前地方債償還義務の償還による支出	307																																																																																																													
その他財務活動による支出	21																																																																																																													
翌事業年度への繰越金	8,622																																																																																																													
区 分	金 額																																																																																																													
資金収入	26,082																																																																																																													
業務活動による収入	17,438																																																																																																													
診療業務による収入	16,206																																																																																																													
運営費負担金による収入	1,011																																																																																																													
その他の業務活動による収入	221																																																																																																													
投資活動による収入	51																																																																																																													
運営費負担金による収入	45																																																																																																													
その他の投資活動による収入	6																																																																																																													
財務活動による収入	375																																																																																																													
長期借入による収入	40																																																																																																													
その他の財務活動による収入	335																																																																																																													
前事業年度からの繰越金	8,218																																																																																																													
資金支出	26,082																																																																																																													
業務活動による支出	16,024																																																																																																													
給与費支出	6,793																																																																																																													
材料費支出	4,617																																																																																																													
その他の業務活動による支出	4,614																																																																																																													
投資活動による支出	897																																																																																																													
有形固定資産の取得による支出	864																																																																																																													
その他の投資活動による支出	33																																																																																																													
財務活動による支出	615																																																																																																													
長期借入金の返済による支出	282																																																																																																													
前前地方債償還義務の償還による支出	307																																																																																																													
その他財務活動による支出	26																																																																																																													
翌事業年度への繰越金	8,546																																																																																																													

4～7 省略

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期 目標	8-1 職員の就労環境の向上	職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。 さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に生かし、医療従事者を必要数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	病棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。
	8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実に行うこと。

項目 No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																										
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																									
27	※ 職員の就労環境の向上 1 職員の就労環境の整備 2 職員の健康管理対策の充実 3 院内保育施設の充実	<p>1 職員の就労環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 有給休暇の取得について、各部門長により計画的な取得を推進するとともに、リフレッシュ休暇（特別休暇）を新設し休暇の取得促進を図った。 <p>【有給休暇取得率】 単位：％</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年次休暇</td> <td>27.3</td> <td>27.5</td> </tr> <tr> <td>夏期休暇</td> <td>92.5</td> <td>87.6</td> </tr> <tr> <td>誕生日休暇</td> <td>74.7</td> <td>79.1</td> </tr> <tr> <td>リフレッシュ休暇</td> <td>—</td> <td>78.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>27</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医師・看護師事務作業補助者数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者（医療クラーク）</td> <td>43</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>病棟事務補助者（看護クラーク）</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>55</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	年次休暇	27.3	27.5	夏期休暇	92.5	87.6	誕生日休暇	74.7	79.1	リフレッシュ休暇	—	78.2	区分\年度	H27	H28	利用者数	27	29	区分\年度	H27	H28	医師事務作業補助者（医療クラーク）	43	37	病棟事務補助者（看護クラーク）	12	11	合計	55	48	<p>2 職員の健康管理対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 主査級職員を対象にメンタルヘルス講習会を実施した。また、前期一般定期健康診断とあわせて「ストレスチェック」を実施した。健康管理対策の充実に努めた。 <p>【メンタルヘルスケア相談件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>【メンタルヘルス講習会参加者数】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88</td> <td>78</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	9	10	H27	H28	88	78	III		
区分\年度	H27	H28																																													
年次休暇	27.3	27.5																																													
夏期休暇	92.5	87.6																																													
誕生日休暇	74.7	79.1																																													
リフレッシュ休暇	—	78.2																																													
区分\年度	H27	H28																																													
利用者数	27	29																																													
区分\年度	H27	H28																																													
医師事務作業補助者（医療クラーク）	43	37																																													
病棟事務補助者（看護クラーク）	12	11																																													
合計	55	48																																													
H27	H28																																														
9	10																																														
H27	H28																																														
88	78																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																							
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																						
		<p>3 院内保育施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 新中央診療棟整備に伴う院内保育所の新築移転のため、他病院の保育施設を見学し、設備や運用面の比較検討を行った。その検討結果を踏まえ、保育所運営委託業者と協同して施設諸室の配置などの検討を重ね、保育所新築移転の院内保育施設移転改築基本計画を策定した。 夜間保育、休日保育、病児保育について継続して実施した。 <p>【院内保育状況】 単位：人・日（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">入所者数</td> <td>54</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">夜間保育</td> <td>利用者数</td> <td>46</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>対応曜日</td> <td>木曜日</td> <td>木曜日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">休日保育日数</td> <td>110</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td colspan="2">病児保育利用（延人数）</td> <td>116</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度		H27	H28	入所者数		54	54	夜間保育	利用者数	46	87	対応曜日	木曜日	木曜日	休日保育日数		110	114	病児保育利用（延人数）		116	88			
区分\年度		H27	H28																									
入所者数		54	54																									
夜間保育	利用者数	46	87																									
	対応曜日	木曜日	木曜日																									
休日保育日数		110	114																									
病児保育利用（延人数）		116	88																									
28	※ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項		<ul style="list-style-type: none"> 医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流や災害時における協力体制など、岐阜県及び岐阜県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進した。 	III																								
29	<p>※ 施設・医療機器の整備に関する事項</p> <p>1 医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>2 質の高い医療をするための新中央診療棟の整備</p>	<p>1 医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 新中央診療棟整備に関し今後、高額な医療機器更新が見込まれるため、緊急度や優先順位を勘案し、整備を行った。 高齢化により増加が見込まれる腎臓疾患重症患者への適切な診療を行うため血液浄化センターを移設整備した。透析装置等の必要な医療機器を整備した。 <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器等整備</td> <td>526</td> <td>246</td> </tr> <tr> <td>施設等整備</td> <td>318</td> <td>370</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>844</td> <td>616</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 質の高い医療をするための新中央診療棟の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 多治見市の地区計画が平成 28 年 9 月 30 日に決定され、新中央診療棟建設に必要な容積率が確保できた。新中央診療棟整備基本計画を、院内各部門ワーキング、整備推進委員会において具体的な検討を重ね、平成 29 年 2 月 28 日に策定した。 	区分\年度	H27	H28	医療機器等整備	526	246	施設等整備	318	370	合計	844	616		IV												
区分\年度	H27	H28																										
医療機器等整備	526	246																										
施設等整備	318	370																										
合計	844	616																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																
		<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの中心である電子カルテシステムについて、他の県立病院に先行して当院が単独で更新整備することを決定した。平成 29 年度に具体的な更新計画を策定する。 																																				
30	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		<ul style="list-style-type: none"> 法人として岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行った。 <p>【企業債償還額(元本)】(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月</td> <td>251</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>338</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>589</td> </tr> </tbody> </table> <p>【債務の償還状況(合計)】(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td>3,603</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>485</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>589</td> </tr> </tbody> </table> <p>(内訳)</p> <p>移行前地方債償還債務(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td>3,211</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>297</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>307</td> </tr> </tbody> </table> <p>長期借入金償還額(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td>392</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>188</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>282</td> </tr> </tbody> </table>		金額	9月	251	3月	338	計	589	年度	実績	第1期中期計画期間計	3,603	H27	485	H28	589	年度	実績	第1期中期計画期間計	3,211	H27	297	H28	307	年度	実績	第1期中期計画期間計	392	H27	188	H28	282	Ⅲ		
	金額																																					
9月	251																																					
3月	338																																					
計	589																																					
年度	実績																																					
第1期中期計画期間計	3,603																																					
H27	485																																					
H28	589																																					
年度	実績																																					
第1期中期計画期間計	3,211																																					
H27	297																																					
H28	307																																					
年度	実績																																					
第1期中期計画期間計	392																																					
H27	188																																					
H28	282																																					
31	※ 積立金の使途		<ul style="list-style-type: none"> 前期中期目標期間における積立金については、平成 29 年度以降に発生する病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。 	Ⅲ																																		